
資料メーカー

取り扱い説明書

IRTB0466

製品ご利用の前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。

※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。



目次

動作環境・その他	02
インストール・アンインストール方法	03～04
起動方法	05
画面・各部の説明	
作業選択画面	06
新規作成画面	06～22
テンプレート画面	23～27
資料を作成して印刷する	28～44
テンプレートを作成する	45～53
その他の機能・操作説明	
作成（保存）したファイルを開く	54
グラフオブジェクトを追加・編集する	55～60
マスク機能を使用する	61～62
画像のトリミングをする	63～64
動画から画像を取り込む	65～68
Q&A	69～74
ユーザーサポート	裏表紙

動作環境

- 対応OS：Windows XP / Vista / 7（※Mac OSには対応していません。）
- CPU：1.0 GHz Pentiumまたは同等クラスのプロセッサ以上
- メモリ：512MB以上必須1GB推奨（Windows Vista、7の場合は1GB以上必須）
- ディスプレイ：1024×768以上の解像度で色深度32bit True Color以上の表示をサポートしている環境
- CD-ROM：倍速以上
- ハードディスク：1GB以上の空き容量（インストール時）別途データを保存するための空き容量が必要です。
- プリンター：対応OS上で正常動作するA3・A4・B5サイズに印刷可能なレーザープリンターもしくはインクジェットプリンター
- スキャナー：TWAIN32ドライバーに対応したスキャナー
- その他：インターネット接続環境推奨
 - ※本ソフトのアップデートにはインターネット接続環境が必要です。
- 対応画像形式：保存形式：ePub / PDF 読込画像形式：JPEG / BMP
 - 出力画像形式：PNG / JPEG / BMP / GIF 動画読込：MPEG1 / AVI / WMV

【OSについて】

- ※上記OSが正常に機能し、OSの最低動作環境を満たしていることが前提です。
- ※日本語版32ビットOSのみの対応です。64ビットでは、WOW64(32ビット互換モード)で動作します。
 - 各種Server OSや64ビット版OS等には対応していません。
- ※最新のサービスパック(SP)及び各種パッチが適用されている環境が前提です。
- ※管理者権限を持ったユーザーでお使いください。
- ※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。
- ※アップデートや最新情報の確認を行う際にはインターネット環境が必要です。

【ご注意】

- ※他のソフトとの互換性はありません。
- ※パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。
- ※一部のプリンターでは正常に印刷を行うことができない場合もあります。
 - （複合機等の特殊な構造をしたプリンターなどで発生しやすい現象となっております。）
- ※プリンターの印刷可能領域が狭いものでは、印刷内容が一部切れてしまう場合もあります。
- ※プリンターと用紙の組み合わせ等によっては、A3・A4・B5サイズであっても対応できない場合があります。
- ※表を作成する機能はありません。グラフ機能の系列・データの追加は1024個までとなります。
- ※フォントはお使いのパソコンにインストールされているフォントから選択して使用することができます。
- ※本ソフトにはフォントは収録されていません、また一部のフォントは使用できない場合があります。
- ※JPEG / BMPファイルは、一般的なWindows標準のファイルを基準としています。特殊な画像ファイル（CMYKモードの物や、Web表示に特化したファイル等）は、本ソフト上では正常に読み込めない場合があります。
- ※日付表示はExifという撮影日時情報が予め入っている時のみできます。情報が入っていない場合にはテキスト機能で直接入力します。
- ※作成したページを電子書籍端末でご利用いただくにはePub・PDF形式に対応した機器・環境が必要となります。
- ※動画ファイルはお使いのパソコン上で正常に再生できる動画のみの対応となり、動画ファイルの再生に必要なコーデック、フィルター等が必要です。
- ※動画形式での保存はできません。
- ※全てのファイルの入力を保証するものではありません。

その他

【サポートについて】

- ※パソコン本体プリンター等の各種ハードウェア、また各種ソフトウェアについての
お問い合わせやサポートにつきましては、各メーカーに直接お問い合わせください。
- ※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなど
すべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。

【その他】

- ※本ソフトを著作権者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用することを禁止します。改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。
- ※本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。
- ※本ソフトを運用された結果の影響につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
 - また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。

【商標について】

- ※Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- ※Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるIntel Corporationの登録商標または商標です。
- ※Mac OS、iPadはApple Inc.の商標です。
- ※AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- ※その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、商標又は登録商標です。
- ※著作権者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、もしくは一部を無断で改変・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されております。
- ※本製品は、株式会社IRTのオリジナル製品です。

インストール方法とアンインストール方法

インストール方法

お使いのコンピュータに『資料メーカー』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が1GB以上必要（左記以外に作成するデータ用の空き容量も必要）です。

○管理者権限について

インストールするコンピュータの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CDが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。

コンピュータの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。

その場合は、[コンピューター※]→[CDまたはDVDドライブ]→[SETUP. EXE]をダブルクリックしてください。

※Windows XPの場合は[マイコンピュータ]
Windows Vistaの場合は[コンピュータ]



2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。



3 インストール先のフォルダーを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。

インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックしてください。

※通常は、インストール先を変更しなくても結構です。



4 設定の内容を確認してください。

確認の画面が表示されます。

よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。



インストール方法とアンインストール方法


5 インストール完了！

インストールが正常に終了すると右のような画面が表示されますので
完了 ボタンをクリックしてください。



アンインストール方法

お使いのコンピュータから『資料メーカー』をアンインストール（削除）します。

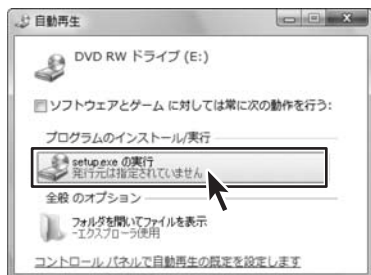
本ソフトを完全に終了して  ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「資料メーカー」を選択して「アンインストール」をクリックすると、確認メッセージが表示されますので、**はい** ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。

※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストールと変更」から、アンインストールを行ってください。

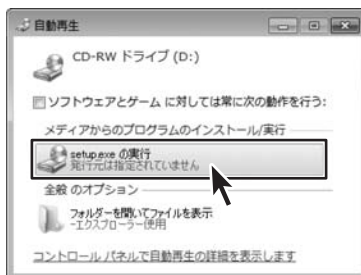
※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」から、アンインストールを行ってください。

インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合

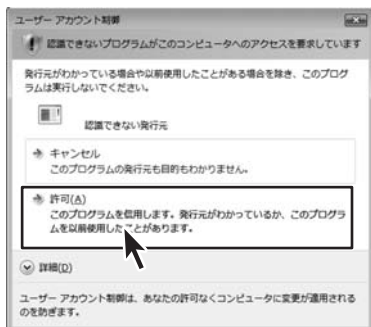
次の手順で作業を続けてください。



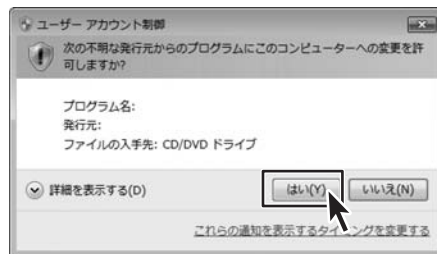
Windows Vistaで[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。





[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
[許可]をクリックしてください。



[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
[はい]をクリックしてください。

起動方法



デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックするか、デスクトップ左下の  ボタン（Windows Vistaの場合は  ボタン、Windows XPの場合は[スタート]ボタン）をクリックして「すべてのプログラム」→「IRT」→「資料メーカー」→「資料メーカー」をクリックしますと本ソフトが起動します。

本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「資料メーカー」のショートカットアイコンが作成されます。



資料メーカー
デスクトップショートカットアイコン

画面・各部の説明

作業選択画面

本ソフトを起動させると、作業選択画面が表示されます。



新規作成

テンプレートを選択画面が表示されます。

ファイルを開く

ファイルを開く画面が表示されます。

テンプレート作成

テンプレート作成画面が表示されます。

新規作成画面

テンプレートを選択画面

作業選択画面で **新規作成** を選択すると、以下のようなテンプレートを選択画面が表示されます。



用紙形式選択ボタン

テンプレート一覧

収録されているテンプレートの一覧が表示されます。

用紙形式選択ボタン



▼をクリックして、A3・A4・B5から、用紙サイズを選択します。



作成したテンプレートを選択すると、テンプレートに合わせて用紙の向きが設定されます。

▼をクリックして、縦・横から、用紙の向きを選択することもできます。

自動で入力画面を表示する

チェックを入れると、テンプレートが開かれた時に、自動で各オブジェクトの入力画面が表示されます。

OK

選択したファイルを開きます。

戻る

ファイルを開かずに画面を閉じます。

画面・各部の説明

1 メニューバー

ファイル(F)

新規作成(N)...	Ctrl+N
開く(O)	Ctrl+O...
保存(S)	Ctrl+S
名前をつけて保存(A)...	
テンプレートとして保存(T)...	
画像形式で保存(I)...	
EPUB...	
PDF...	
表紙設定...	
ページ設定(U)...	
印刷プレビュー(V)...	
印刷(P)...	Ctrl+P
バックアップ...	
終了(X)	Alt+F4

ファイルメニュー

新規作成

作業選択画面が表示されます。

開く

保存した資料を開きます。

保存

編集した資料を上書き保存します。

名前をつけて保存

作成した資料に名前をつけて保存します。

テンプレートとして保存

編集中のページをテンプレートとして保存します。
(※詳細は40ページをご覧ください)

EPUB

EPUB形式で保存します。

PDF

PDF形式で保存します。

表紙設定

表紙選択画面が表示されます。(※詳細は42ページをご覧ください)

ページ設定

用紙のサイズや向き、補助線の表示、
印刷オプションなど用紙や印刷に関する設定を行います。

印刷プレビュー

印刷プレビュー画面が表示されます。(※詳細は18ページをご覧ください)

印刷

作成した資料を印刷します。
印刷ボタンと同じ働きをします。

終了

「資料メーカー」を終了します。
本ソフトを終了するときは、ここから終了してください。

編集(E)

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し(R)	Ctrl+Y
切り取り(X)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(E)	Delete

編集メニュー

元に戻す

行った操作を取り消し、操作を行う前の状態にします。

やり直し

「元に戻す」で行った操作を取り消します。

切り取り

選択しているオブジェクトを切り取ります。
(一時的にクリップボードに保存されます)

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。
(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

画面・各部の説明

全て選択(A)	Ctrl+A
選択(S)	S
追加(I)	▶
回転(K)	R
トリミング(T)	T
前面に移動(F)	Ctrl+F
背面に移動(B)	Ctrl+B
位置揃え	▶

編集メニュー

全て選択

作成されているオブジェクト全てが選択されます。

選択

オブジェクトをマウスクリックで選択することができます。

ツールボタンの「選択」ボタンと同じ働きをします。

追加

テキスト・画像・図形・グラフ・マスクのオブジェクトを追加します。

ツールボタンの「文字」ボタン・「画像」ボタン・「素材」ボタン・

「図形」ボタン・「グラフ」ボタン・「マスク」ボタンと同じ働きをします。

回転

選択されているオブジェクトをマウスで回転させることができます。

ツールボタンの「回転」ボタンと同じ働きをします。

解除は「選択」ボタンをクリックします。

トリミング

選択した画像オブジェクトの不要な部分を切り取ることができます。

(※画像オブジェクトのみ使用可。)

前面に移動

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを前面に

表示することができます。重なっているオブジェクトは下に表示されます。

ツールボタンの「前面へ」ボタンと同じ働きをします。

背面に移動

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを背面に表示する

ことができます。重なっているオブジェクトは上に表示されます。

ツールボタンの「背面へ」ボタンと同じ働きをします。

位置揃え

選択中の複数のオブジェクトの位置関係を設定できます。

横方向…左に寄せる・中央に寄せる・右に寄せる・用紙の中央に揃える

最小の幅に揃える・平均の幅に揃える・最大の幅に揃える

縦方向…上に寄せる・中央に寄せる・下に寄せる・用紙の中央に揃える

最小の高さに揃える・平均の高さに揃える・最大の高さに揃える

角度 …0度に揃える・90度に揃える・180度に揃える・270度に揃える

最小の角度に揃える・最大の角度に揃える

背景画像

背景画像画面が表示されます。

(※詳細は21ページを参照して下さい。)

背景色

色の設定画面が表示されます。

背景を削除

背景が削除されます。

背景(B)
背景画像...
背景色...
背景を削除

背景メニュー

画面・各部の説明

表示(V)

拡大(I)	Ctrl+NUM+
縮小(D)	Ctrl+NUM-
標準(S)	
全体を表示(A)	
幅にあわせる(W)	
25%(Q)	
50%(H)	
75%	
100%	
150%	
200%	
300%	
400%	
800%	
1600%	

表示メニュー

ページ(P)

最初のページ(F)
前のページ(P)
次のページ(N)
最後のページ(L)
ページを追加(A)
このページを削除(D)
前のページと入れ替える
次のページと入れ替える

ページメニュー

ヘルプ(H)

バージョン情報(V)...

ヘルプメニュー

拡大

表示しているページを拡大表示させることができます。

縮小

表示しているページを縮小表示させることができます。

標準

表示しているページを標準表示に戻します。

全体を表示

表示しているページ全体をウインドウサイズに合せて表示します。

幅にあわせる

表示しているページの横幅をウインドウサイズに合せて表示することができます。

25%～1600%

選択した数字に合わせて、表示しているページが拡大・縮小されて表示されます。

最初のページ

ページが複数がある場合、最初のページを表示します。

前のページ

ページが複数がある場合、現在表示しているページの前のページを表示します。「前ページ」ボタンと同じ働きをします。

次のページ

ページが複数がある場合、現在表示しているページのページを表示します。「次ページ」ボタンと同じ働きをします。

最後のページ

ページが複数がある場合、最後のページを表示します。

ページを追加

新しいページを追加します。「ページ追加」ボタンと同じ働きをします。

このページを削除

現在表示しているページを削除します。
ページ削除ボタンと同じ働きをします。

前のページと入れ替える

現在表示しているページを、前のページと入れ替えます。

次のページと入れ替える

現在表示しているページを、次のページと入れ替えます。

バージョン情報

バージョン情報が表示されます。

画面・各部の説明

2 ツールボタン



選択ボタン

オブジェクトをマウスクリックで選択することができます。



画像ボタン

画像オブジェクトを追加することができます。



図形ボタン

直線・四角・丸・三角・矢印・逆矢印の図形オブジェクトを追加することができます。



回転ボタン

選択されているオブジェクトをマウスで回転させることができます。



トリミングボタン（画像オブジェクトのみ使用可）

選択した画像オブジェクトの不要な部分を切り取ることができます。



背面へボタン

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを背面に表示することができます。重なっているオブジェクトは上に表示されます。



印刷ボタン

作成したレイアウトデータを印刷します。



文字ボタン

テキストオブジェクトを追加することができます。



素材ボタン

フレーム・スタンプ・表紙の素材オブジェクトを追加することができます。



グラフボタン

グラフオブジェクトを追加することができます。



マスクボタン

マスクオブジェクトを追加することができます。マスクの重なってる部分は透明になり、印刷されなくなります。



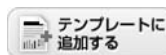
前面へボタン

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを前面に表示することができます。重なっているオブジェクトは下に表示されます。



位置揃えボタン

複数のオブジェクトの位置を揃えることができます。また、選択したオブジェクトを用紙に合せて配置することができます。

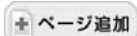


テンプレートに追加するボタン

テンプレート一覧に追加します。

画面・各部の説明

3 ページ切り替えボタン



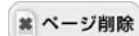
ページ追加

作成したレイアウトデータを印刷します。



前ページ

ページが複数がある場合、現在表示しているページの前のページを表示します。



ページ削除

現在表示しているページを削除します。
ページ削除ボタンと同じ働きをします。



次ページ

ページが複数がある場合、現在表示しているページの次のページを表示します。

4 ページ一覧表示

作成したページの一覧が表示されます。表示されたレイアウトをクリックするとプレビュー画面に表示されます。

5 プレビュー

ページ一覧で選択しているページのプレビューが表示されます。作成・編集等を行います。

6 テンプレート一覧

データの一覧が表示されます。編集画面のレイアウトデータに選択できます。

7 ファイル情報

マウスポインタの座標・現在表示している倍率・用紙のサイズ・向き・ページ数・オブジェクトの数が表示されます。

画面・各部の説明

テキストオブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

プロパティ(P)...
縦書きにする(V)
オブジェクトのサイズと配置(S)...
枠(B)...
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)

プロパティ

テキストオブジェクトのプロパティ画面を表示します。
(詳細は18~19ページをご覧ください)

縦書きにする (横書きにする)

テキストが横書きの時は縦書きに、縦書きの時は横書きに変更します。

オブジェクトのサイズと配置

オブジェクトのサイズと配置画面が表示されます。
オブジェクトのサイズと位置、重なり順番を設定することができます。

枠

枠のプロパティ画面が表示されます。
オブジェクトに枠をつけることができます。

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。
(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

画像オブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

画像ファイルを開く(O)...
動画から...
外部機器から取り込む(T)...
キャッシュから取り込む(H)...
トリミングを解除(U)
<input checked="" type="checkbox"/> サイズ変更は画像の縦横比に合わせて行う(A)
オブジェクトのサイズと配置(S)...
枠(B)...
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)

画像ファイルを開く

画像ファイルを開きます。

動画から...

動画から画像を取り込みます。

外部機器から取り込む

TWAIN32対応のスキャナーで読み込んだ画像を読み込みます。

キャッシュから取り込む

前回使用した画像ファイルを再度使用することができます。

トリミングを解除

トリミングされた画像オブジェクトをトリミング前の状態に戻します。

サイズ変更は画像の縦横比に合わせて行う

チェックを外すと、画像オブジェクトを拡大縮小する際に
縦と横の比率を固定しないで、拡大縮小することができます。

枠

枠のプロパティ画面が表示されます。
オブジェクトに枠をつけることができます。

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。
(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

画面・各部の説明

素材オブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

装飾素材を選択(F)...
オブジェクトのサイズと配置(S)...
サイズ変更は素材の縦横比に合わせて行う
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)

装飾素材を選択

装飾素材画面を表示します。(詳細は20ページをご覧ください)

装飾する素材を選択します。

オブジェクトのサイズと配置

オブジェクトのサイズと配置画面が表示されます。

オブジェクトのサイズと位置を数値を入力して、設定することができます。

サイズ変更は素材の縦横比に合わせて行う

縦横比を維持したままサイズ変更をします。

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。

(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

図形オブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

プロパティ(P)...
オブジェクトのサイズと配置(S)...
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)

プロパティ

図形のプロパティ画面を表示します。

(詳細は20ページをご覧ください)

オブジェクトのサイズと配置

オブジェクトのサイズと配置画面が表示されます。

オブジェクトのサイズと位置を数値を入力して、設定することができます。

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。

(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

画面・各部の説明

グラフオブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

プロパティ(P)...
オブジェクトのサイズと配置(S)...
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)
凡例を作成(L)

プロパティ

グラフのプロパティ画面を表示します。
(詳細は22ページをご覧ください)

オブジェクトのサイズと配置

オブジェクトのサイズと配置画面が表示されます。
オブジェクトのサイズと位置を数値を入力して、設定することができます。

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。
(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

凡例を作成

グラフから凡例オブジェクトを作成します。

グラフオブジェクト (凡例) 上で右クリックすると表示されるメニュー

プロパティ(P)...
オブジェクトのサイズと配置(S)...
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)
グラフに移動(M)

プロパティ

グラフのプロパティ画面を表示します。
(詳細は22ページをご覧ください)

オブジェクトのサイズと配置

オブジェクトのサイズと配置画面が表示されます。
オブジェクトのサイズと位置を数値を入力して、設定することができます。

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。
(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

グラフに移動

グラフオブジェクトを選択します。
凡例が作成されているグラフオブジェクトを選択します。

マスクオブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

オブジェクトのサイズと配置(S)...
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)

オブジェクトのサイズと配置

オブジェクトのサイズと配置画面が表示されます。
オブジェクトのサイズと位置を数値を入力して、設定することができます。

コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。
(一時的にクリップボードに保存されます)

貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除

選択しているオブジェクトを削除します。

画面・各部の説明

解像度の選択画面

[ファイル]メニューから[画像形式で保存]を選択すると、下のような解像度の選択画面が表示されます。



解像度

72dpi/96dpi/100dpi/120dpi/150dpi/200dpi/300dpi/400dpiから解像度を選択します。

ファイルサイズ

選択された解像度で保存した場合のファイルサイズが表示されます。

画像サイズ

選択された解像度で保存した場合の画像サイズが表示されます。

OK

設定した解像度で画像を保存します。

クリックすると、名前をつけて保存画面が表示されます。

保存可能形式…PNG/JPEG/BMP/GIF

中止

画像を保存せずに、解像度の選択画面を閉じます。

ページ設定画面

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択すると、下のようなページ設定画面が表示されます。



[用紙のサイズと向き]タブ

用紙サイズ

▼をクリックして、用紙サイズを設定します。

A3・A4・B5・ユーザー定義用紙

※ユーザー定義は、横幅と高さに数字を入力した際、既存の用紙サイズと異なる場合のみ自動切替されます。直接選択できません。

横幅

用紙の横幅のサイズを0.1ミリ単位で設定できます。

高さ

用紙の高さのサイズを0.1ミリ単位で設定できます。

用紙の向き(縦・横)

用紙の向きを設定します。

OK (全タブ共通)

設定を保存して、ページ設定画面を閉じます。

キャンセル (全タブ共通)

設定を保存せずに、ページ設定画面を閉じます。

画面・各部の説明



[補助線]タブ

補助線を表示する

チェックを入れると、レイアウトする際の目安となる線を表示します。

※印刷されません

補助線を印刷する

チェックを入れると、レイアウトする際の目安となる線を印刷します。

補助線の間隔

縦線の間隔…縦線の間隔を0.1ミリ単位で設定できます。

横線の間隔…横線の間隔を0.1ミリ単位で設定できます。



[印刷オプション]タブ

画像の印刷品質

高品位⇄低品位

印刷時の画像の品質を設定します。

印刷単位の分割

1ページずつプリンタに送る

チェックを入れると、1ページずつ印刷データをプリンタに送ります。

ページ間の待ち時間

1秒単位でプリンタに印刷データを送る待機時間を設定します。

画面・各部の説明

印刷プレビュー画面

[ファイル]メニューから[印刷プレビュー]を選択すると、下のような印刷プレビュー画面が表示されます。



印刷

プレビューで表示しているページを印刷します。

前のページ

前のページのプレビューを表示します。

次のページ

次のページのプレビューを表示します。

終了

印刷プレビュー画面を閉じます。

テキストオブジェクトのプロパティ画面

テキストオブジェクトをダブルクリックすると、下のようなテキストオブジェクトのプロパティ画面が表示されます。

※右クリックでも表示することができます。(13ページ)



フォント

変更ボタン

フォント画面が開き、パソコンの中に入っているフォントを選択したり、スタイルやフォントサイズを設定することができます。

文字色

▼をクリックして、フォントの色を変更することができます。

縁取りの色

▼をクリックして、文字の縁取りの色を変更することができます。

縁取りの太さ

数値を入力して、文字の縁取りの太さを設定します。

変形

種類

▼をクリックして、変形の種類を選択します。

強さ

つまみをドラッグで調整して、変形を適用する強さを設定します。

配置

文字間隔

0.1ミリ単位で文字と文字の間を設定することができます。

例:「あいう」と入力した場合、「あ」と「い」、
「い」と「う」の間の余白設定になります。

枠にあわせて折り返す

▼をクリックして、[はい]を選択すると、
テキストオブジェクトの枠に沿って、文章を折り返します。

画面・各部の説明



横位置

▼をクリックして、テキストオブジェクト枠内の文字配置を左・中央・右の中から設定します。

縦位置

▼をクリックして、テキストオブジェクト枠内の文字配置を上・中央・下の中から設定します。

テキストの方向

▼をクリックして、横書き、または縦書きを選択します。

上下反転

チェックを入れると、[テキスト]に入力した文字を上下反転した状態でテキストオブジェクトに配置します。

左右反転

チェックを入れると、[テキスト]に入力した文字を左右反転した状態でテキストオブジェクトに配置します。

テキスト

テキストオブジェクトに入力する文字を入力します。

OK

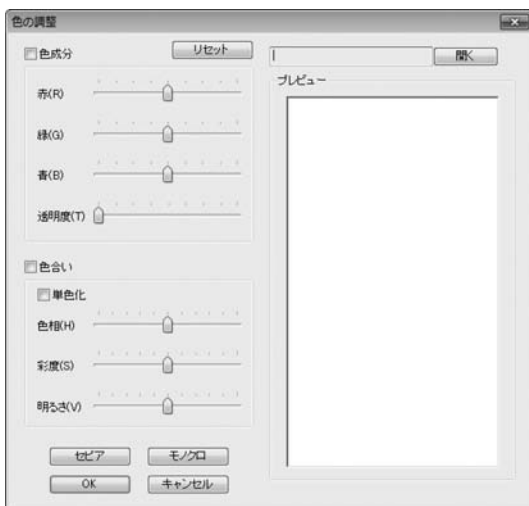
設定した内容を保存して、画面を閉じます。

キャンセル

設定した内容を保存せずに、画面を閉じます。

色の調整画面

画像オブジェクトを選択して、「色の調整」ボタンをクリックすると、下のような色の調整画面が表示されます。



リセット

設定した色成分・色合いを初期の状態に戻します。

色成分

チェックを入れて、各項目のつまみを調整すると、挿入した画像の色成分を調整することができます。

色合い

チェックを入れて、各項目のつまみを調整すると、挿入した画像の色合いを調整することができます。
[単色化]にチェックを入れると、画像全体を単色化します。

セピア

画像をセピア表示します。

モノクロ

画像をモノクロ表示します。

OK

設定した内容を保存して、画面を閉じます。

キャンセル

設定した内容を保存せずに、画面を閉じます。

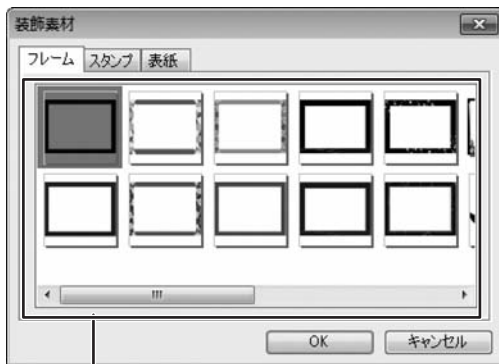
プレビュー

画像のプレビューが表示されます。

画面・各部の説明

装飾素材選択画面

素材オブジェクトをダブルクリックすると、下のようなフレーム枠を選択画面が表示されます。
※右クリックでも表示することができます。(14ページ)



装飾素材一覧

装飾素材一覧

フレーム、スタンプ、表紙の素材を一覧で表示します。

OK

選択した素材を表示しているページに配置します。

キャンセル

素材を配置せずに、画面を閉じます。

図形のプロパティ画面

図形オブジェクトをダブルクリックすると、下のような図形のプロパティ画面が表示されます。
※右クリックでも表示することができます。(14ページ)



種類

▼をクリックして、直線・四角・丸・三角・矢印・逆矢印の図形の種類を選択します。

線の太さ

▼をクリックして、1～10ptから図形の線の太さを設定します。

線の種類

▼をクリックして、実線・破線・点線・1点鎖線・2点鎖線から線の種類を設定します。

線の色

▼をクリックして、線(図形周囲の線)の色・透明度を設定します。

塗りつぶしの色

▼をクリックして、図形の中を塗りつぶす色・透明度を設定します。

OK

設定した内容を保存して、画面を閉じます。

キャンセル

設定した内容を保存せずに、画面を閉じます。

プレビュー

設定した内容の図形をプレビュー表示します。

画面・各部の説明

背景画像画面

[背景]メニューから[背景画像]を選択すると、下のような背景画像画面が表示されます。



背景画像一覧

収録されている背景画像の一覧を表示します。

配置

背景画像のサイズを選択します。

用紙のサイズに合わせる・用紙の幅に合わせる・用紙の長さに合わせるから選択できます。

余白

背景画像の外側の余白を設定します。

OK

選択した背景画像を表示しているページに配置します。

キャンセル

素材を配置せずに、画面を閉じます。

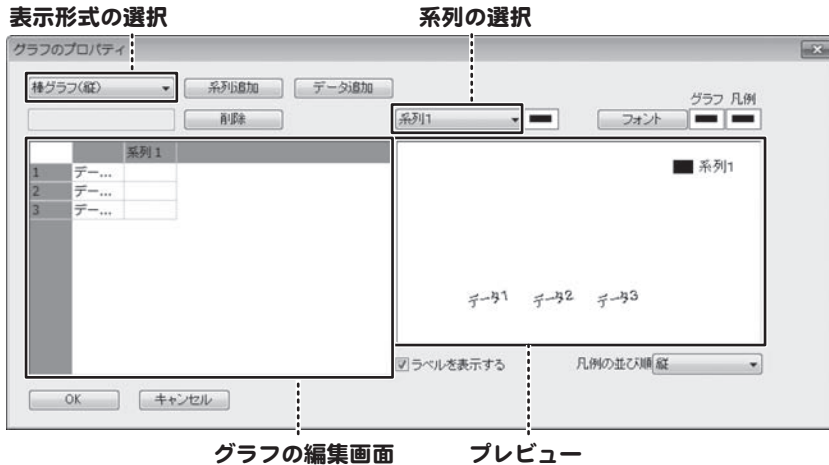
プレビュー

選択した背景画像をプレビュー表示します。

画面・各部の説明

グラフのプロパティ画面

グラフオブジェクトをダブルクリックすると、下のようなグラフのプロパティ画面が表示されます。
※右クリックでも表示することができます。(15ページ)



表示形式の選択

グラフの表示形式を選択します。

▼をクリックして、棒グラフ(縦)・棒グラフ(横)・円グラフから選択します。

系列を追加

グラフに系列を追加します。

データを追加

グラフにデータを追加します。

削除

グラフから選択した系列・データを削除します。

系列の選択

▼をクリックして、色設定する系列を選択します。



色の設定画面を表示します。

フォント

フォントの設定画面を表示します。

グラフ 凡例



色の設定画面を表示します。

グラフの編集画面

グラフの設定・表示させたい文字の入力を行います。

凡例の並び順

▼をクリックして、凡例の並び順を縦・横から選択します。

OK

設定した内容で配置します。

キャンセル

配置せずに、画面を閉じます。

設定した内容をキャンセルします。

プレビュー

グラフのプレビューを表示します。

※「ラベルに表示する」にチェックを入れると、プレビュー画面に入力したデータが表示されます。

画面・各部の説明

テンプレート作成画面

メイン画面 作業選択画面で **テンプレート作成** を選択すると、以下のようなテンプレート作成画面が表示されます。



1 メニューバー

ファイル(F)		
新規作成(N)...		Ctrl+N
名前を付けて保存(S)...		Ctrl+S
一覧に追加(A)...		
一覧から削除(D)		
ページ設定(U)...		
終了(X)		Alt+F4

ファイルメニュー

- 新規作成**
作業選択画面が表示されます。
- 名前を付けて保存**
名前を付けて保存画面が表示されます。
- 一覧に追加**
テンプレート一覧に追加表示されます。
- 一覧から削除**
テンプレート一覧から削除されます。
- ページ設定**
ページ設定画面を表示します。
- 終了**
ソフトを終了します。

画面・各部の説明

編集(E)

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し(R)	Ctrl+Y
切り取り(X)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(E)	Delete
全て選択(A)	Ctrl+A
選択(S)	S
追加(I)	▶
回転(K)	R
トリミング(T)	T
前面に移動(F)	Ctrl+F
背面に移動(B)	Ctrl+B
位置揃え	▶

編集メニュー

元に戻す
行った操作を取り消し、操作を行う前の状態にします。

やり直し
「元に戻す」で行った操作を取り消します。

切り取り
選択しているオブジェクトを切り取ります。
(一時的にクリップボードに保存されます。)

コピー
選択しているオブジェクトをコピーします。
(一時的にクリップボードに保存されます。)

貼り付け
切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

削除
選択しているオブジェクトを削除します。

全て選択
表示されているオブジェクト全てが選択されます。

選択
オブジェクトをマウスクリックで選択することができます。
ツールボタンの「選択」ボタンと同じ働きをします。

追加
テキスト・画像・図形・グラフ・マスクのオブジェクトを追加します。
ツールボタンの「文字」ボタン・「画像」ボタン・「素材」ボタン・
「図形」ボタン・「グラフ」ボタン・「マスク」ボタンと同じ働きをします。

回転
選択されているオブジェクトをマウスで回転させることができます。
ツールボタンの「回転」ボタンと同じ働きをします。

トリミング
選択した画像オブジェクトの不要な部分を切り取ることができます。
(※画像オブジェクトのみ使用可。)

前面に移動
複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを前面に
表示することができます。重なっているオブジェクトは下に表示されます。
ツールボタンの「前面へ」ボタンと同じ働きをします。

背面に移動
複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを背面に表示する
ことができます。重なっているオブジェクトは上に表示されます。
ツールボタンの「背面へ」ボタンと同じ働きをします。

位置揃え
選択中の複数のオブジェクトの位置関係を設定できます。
横方向…左に寄せる・中央に寄せる・右に寄せる・用紙の中央に揃える
最小の幅に揃える・平均の幅に揃える・最大の幅に揃える
縦方向…上に寄せる・中央に寄せる・下に寄せる・用紙の中央に揃える
最小の高さに揃える・平均の高さに揃える・最大の高さに揃える
角度 …0度に揃える・90度に揃える・180度に揃える・270度に揃える
最小の角度に揃える・最大の角度に揃える

画面・各部の説明

背景(B)

背景画像...
背景色...
背景を削除

背景メニュー

表示(V)

拡大(I)	Ctrl+NUM+
縮小(D)	Ctrl+NUM-
標準(S)	
全体を表示(A)	
幅にあわせる(W)	
25%(Q)	
50%(H)	
75%	
100%	
150%	
200%	
300%	
400%	
800%	
1600%	

表示メニュー

ヘルプ(H)

バージョン情報(V)...

ヘルプメニュー

背景画像

背景画像画面が表示されます。
(※詳細は21ページを参照して下さい。)

背景色

色の設定画面が表示されます。

背景を削除

表示しているページの背景が削除されます。

拡大

表示しているページを拡大表示させることができます。

縮小

表示しているページを縮小表示させることができます。

標準

表示しているページを標準表示に戻します。

全体を表示

表示しているページ全体をウインドウサイズに合わせて表示することができます。

幅にあわせる

表示しているページの横幅をウインドウサイズに合わせて表示することができます。

25%～1600%

選択した数字に合わせて表示しているページが拡大・縮小されます。

バージョン情報

バージョン情報が表示されます。

画面・各部の説明

2 ツールボタン



選択ボタン

オブジェクトをマウスクリックで選択することができます。



画像ボタン

画像オブジェクトを追加することができます。



図形ボタン

直線・四角・丸・三角・矢印・逆矢印の図形オブジェクトを追加することができます。



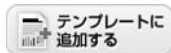
回転ボタン

選択されているオブジェクトをマウスで回転させることができます。



前面へボタン

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを前面に表示することができます。重なっているオブジェクトは下に表示されます。



テンプレートに追加するボタン

テンプレート一覧に追加します。



保存

テンプレートをパソコン上に保存します。
名前を付けて保存画面が表示されます。



文字ボタン

テキストオブジェクトを追加することができます。



素材ボタン

フレーム・スタンプ・表紙の素材オブジェクトを追加することができます。



グラフボタン

グラフオブジェクトを追加することができます。



背面へボタン

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを背面に表示することができます。重なっているオブジェクトは上に表示されます。



位置揃えボタン

複数のオブジェクトの位置を揃えることができます。
また、選択したオブジェクトを用紙に合せて配置することができます。



削除

追加したテンプレートを削除します。
※本ソフトに初期設定されているテンプレートは削除できません。

画面・各部の説明

3 テンプレート一覧

テンプレートデータの一覧が表示されます。一覧から選択して編集したテンプレートを一覧に追加できます。

4 テンプレート作成エリア

プレビューが表示されます。データの作成・編集等を行います。

5 ファイル情報

プレビュー画面に表示されているデータのファイル情報が表示されます。

オブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

「オブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー画面」については、下記のページを参照してください。

- ・テキストオブジェクト → 13ページ
- ・画像オブジェクト → 13ページ
- ・素材オブジェクト → 14ページ
- ・図形オブジェクト・グラフ → 14ページ

ページ設定画面

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択すると、下のようなページ設定画面が表示されます。



[用紙のサイズと向き]タブ

※各内容については、16ページを参照してください



[補助線]タブ

※各内容については、17ページを参照してください

資料を作成して印刷する

ここでは、以下のようなデザインをA4サイズの下紙に印刷する方法の説明をします。

※説明にあるすべての操作を行う必要はありませんので、実際の作成作業では必要のない項目は飛ばしながらお進みください。



ここでは、左のような資料を、
以下の手順で作成する説明をします。

テンプレートの選択 (29ページ)
↓
文字の編集 (30～31ページ)
↓
画像の編集 (32～34ページ)
↓
図形の編集 (35～37ページ)
↓
素材の配置と編集 (38ページ)
↓
背景を設定 (39ページ)
↓
テンプレートを追加 (40ページ)
↓
ページを追加 (41ページ)
↓
表紙を選択して作成した資料の保存 (42ページ)
↓
作成した資料の印刷 (44ページ)

1 新規作成の設定をします

作業選択画面で、
作成するデータの種類を選択します。
(ここでは、[新規作成]を選択します)

新規作成

ボタンをクリックします。



資料を作成して印刷する

2 テンプレートを選択します

テンプレートを選択画面が表示されます。
一覧から、任意のテンプレートを選択します。
ここでは、「01」を選択します。

用紙のサイズを選択して、
「自動で入力画面を表示する」に
チェックを入れます。

OK ボタンをクリックします。



- ①▼をクリックして、「用紙サイズ」を設定します。
(ここでは、A4 に設定)



- ②自動で入力画面を表示にチェックを入れます。
※初期設定では、チェックは入っています。

☒ 自動で入力画面を表示する

チェックを入れる!



資料を作成して印刷する

3 文字オブジェクトを編集する

テンプレートを選択すると、選択したテンプレートに配置されているオブジェクトのプロパティ画面が、自動的に表示されます。

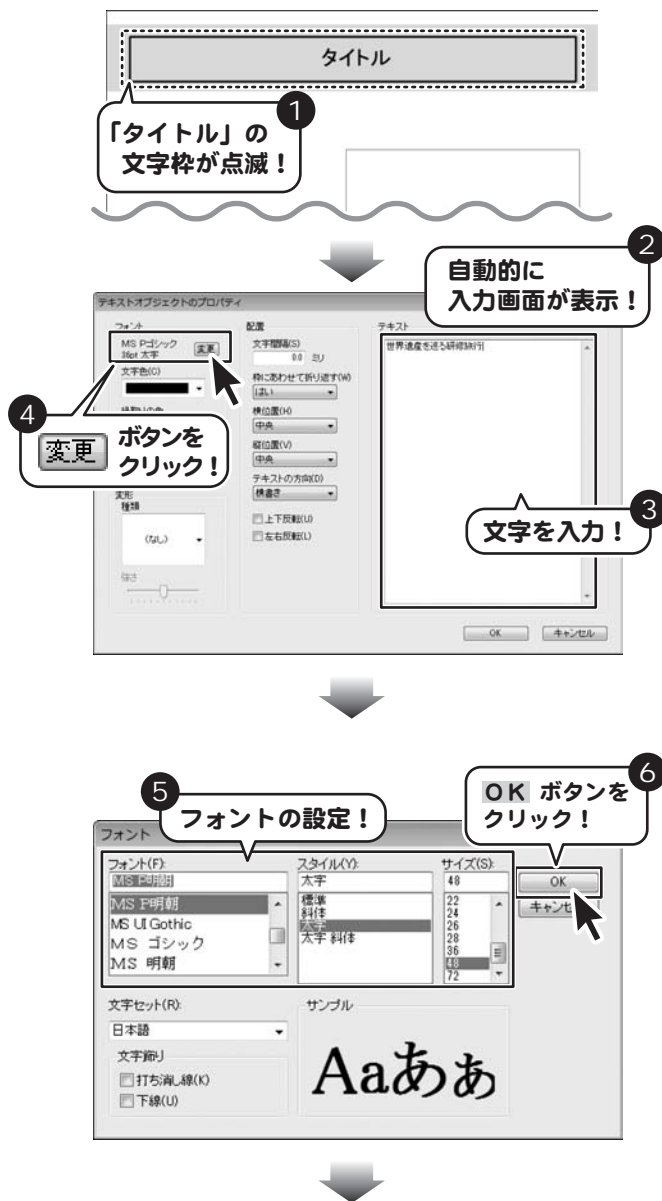
選択したテンプレートでは、最初に、プレビュー画面の「タイトル」の文字枠が点滅して、テキストオブジェクトのプロパティ画面が表示されます。

まず、「テキスト」画面に文字を入力します。

次に、フォントを設定します。
フォントの「変更」ボタンをクリックすると、フォント画面が表示されます。

「タイトル」になる見出しなので、ここでは、任意の大きい太字で設定します。

OK ボタンをクリックしますと、テキストオブジェクトのプロパティ画面に戻ります。

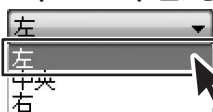


資料を作成して印刷する

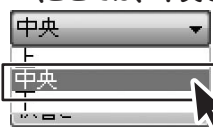
ここでは、横位置を「左」に、
縦位置を「中央」に設定します。
設定が終了したら、OK ボタンをクリックします。



- ①▼をクリックして、横位置を設定します。
(ここでは、左に設定)



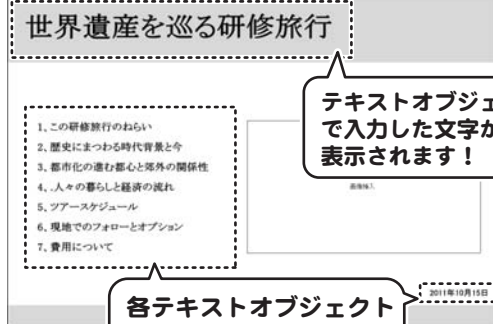
- ②▼をクリックして、縦位置を設定します。
(ここでは、中央を設定)



OK ボタンをクリック！

プレビュー画面の「タイトル」に入力した文字が
設定した内容で、配置されました。

この手順で、「目次など」「日付」部分も
テキストオブジェクトのプロパティ画面が
自動的に表示されますので、入力・設定をします。



各テキストオブジェクト
の入力・設定をします！

資料を作成して印刷する

4 画像オブジェクトを編集する

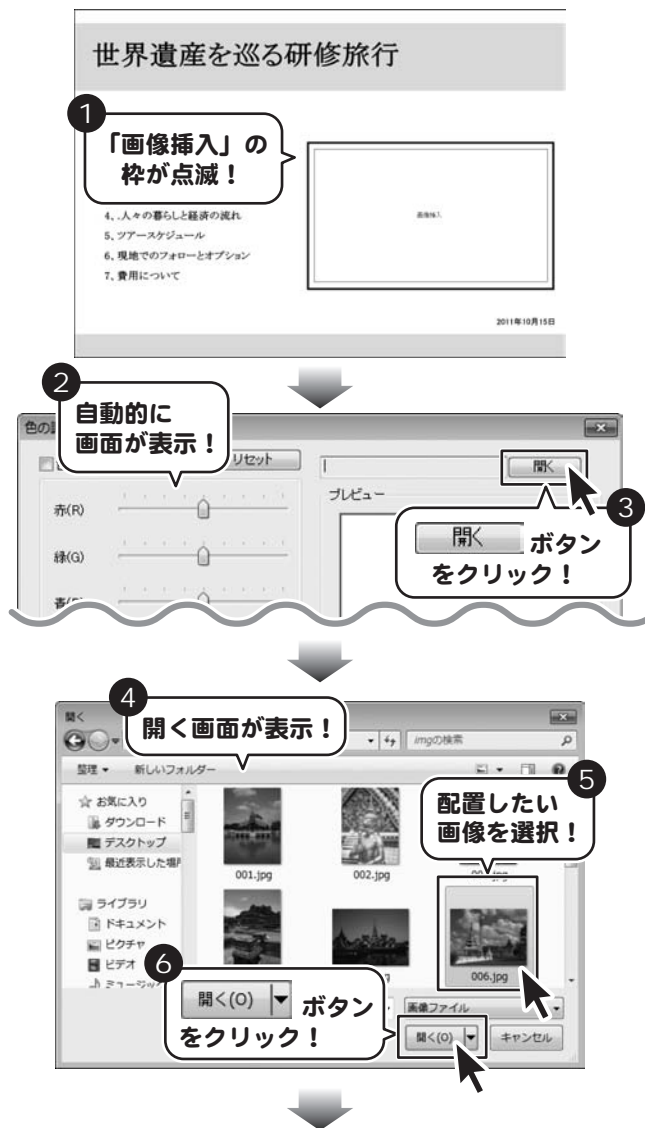
次に、画像オブジェクトのプロパティ画面が自動的に表示されます。
画像オブジェクトの枠が点滅して、色の調整画面が表示されます。

色の調整画面が表示されたら、配置する画像を選択します。

開く ボタンをクリックすると、開く画面が表示されます。


開く画面が表示されたら、配置する画像を選択します。

開く(O) ボタンをクリックしますと、色の調整画面に戻って、プレビューに選択した画面が表示されます。



資料を作成して印刷する

配置する画像の色の調整を設定します。

ここでは、「色合い」にチェックを入れて、 をドラッグで動かして、「彩度」と「明るさ」を調整しました。

※プレビュー画面で確認しながら、調整します。

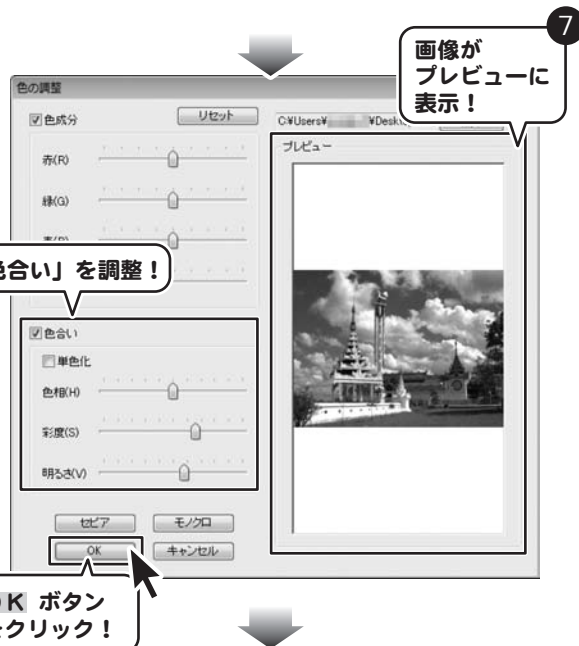
全ての設定が終わりましたら、

OK ボタンをクリックして、確定させます。

画像が配置されました。

自動で入力画面が表示されなくなったら、配置された各オブジェクトのサイズと位置を調整します。

**オブジェクトの
サイズ、位置を調整！**



世界遺産を巡る研修旅行

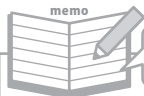
1. この研修旅行のねらい
2. 歴史にまつわる時代背景と今
3. 都市化の進む都心と郊外の関係性
4. 人々の暮らしと経済の流れ
5. ファーストスケジュール
6. 現地でのフォローとオプション
7. 費用について

2011年10月15日

画像が配置！



資料を作成して印刷する

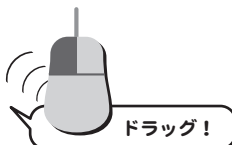


マウス操作でオブジェクトのサイズ・位置変更

サイズ変更

オブジェクトの周辺にある□にマウスを合わせると、カーソルの表示が↔に変わります。左クリックしたままマウスを移動すると、オブジェクトのサイズを変更できます。

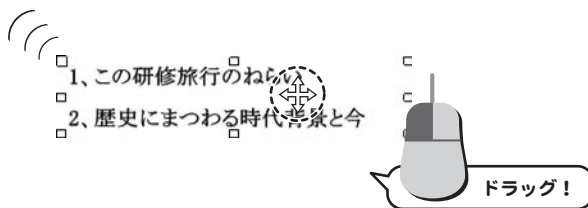
- 1、この研修旅行のねらい
- 2、歴史にまつわる時代背景と今



※この操作は、全てのオブジェクトの共通して使える機能です。

位置変更

オブジェクトの枠内にマウスがくると、カーソルの表示が↕に変わります。マウスをドラッグすると、オブジェクトを任意の位置に変更できます。



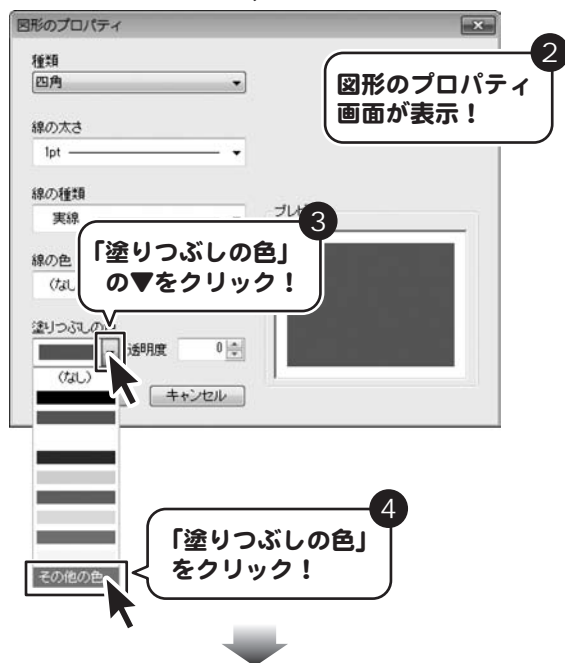
資料を作成して印刷する

5 図形オブジェクトを編集します

次に、図形オブジェクトを編集します。
図形オブジェクト上でダブルクリックすると、
図形のプロパティ画面が表示されます。
※プレビュー画面上で、右クリックすると、
表示されるポップアップ画面から
「プロパティ」を選択しても同じ操作が行えます。

画面が表示されたら、図形の設定をします。

ここでは、塗りつぶしの色を設定します。
▼をクリックして色一覧から選択します。
色一覧以外の色を設定した場合は、「その他の色」
を選択します。
色の設定画面を表示します。



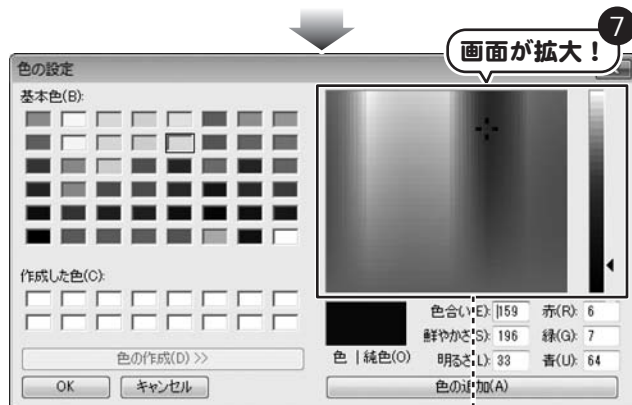
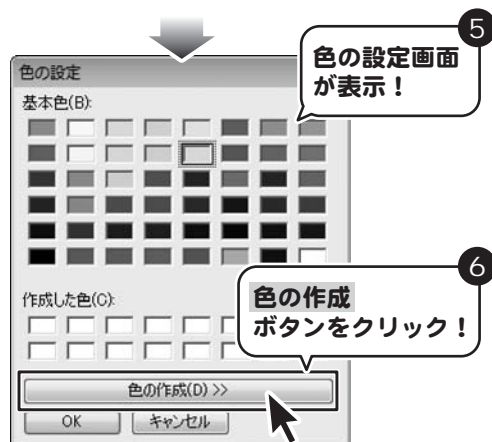
資料を作成して印刷する

色の設定画面が表示されました
全48色の基本色が表示されました。


ここでは、新しい色を作成したいので、
色の作成 ボタンをクリックします。

色の設定画面が右に拡大されて、
色の作成画面が表示されました。

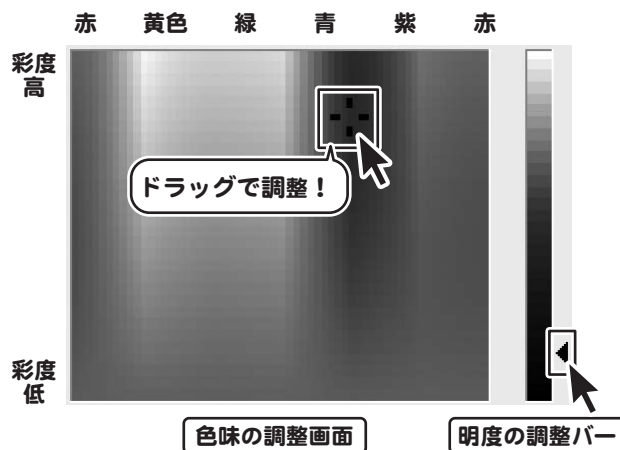
色の作成画面で、追加したい色を作成します。



色の作成画面では、右図の画面上で
ドラッグ操作をすることで、色の調整をします。
更に明度の調整もでき、
任意の色を作成することができます。

- ①色味の調整画面上で  をドラッグで動かして、色を調整します。
※ここで設定した色味で、
明度の調整バーの色が変化します。

- ②明度の調整バーの  をドラッグで上下に動かして、明度を調整します。

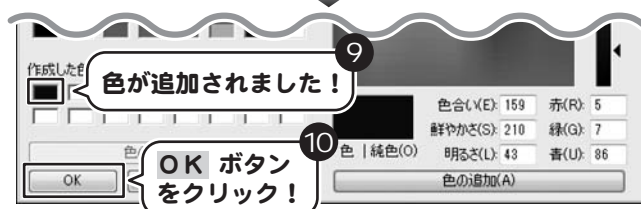


資料を作成して印刷する

作成した色を確認して、
確定したら、色の追加 ボタンをクリックします。



作成した色一覧に、作成した色が追加されました。
追加した色を選択した状態で、
OK ボタンをクリックすると、
図形のプロパティ画面に戻ります。



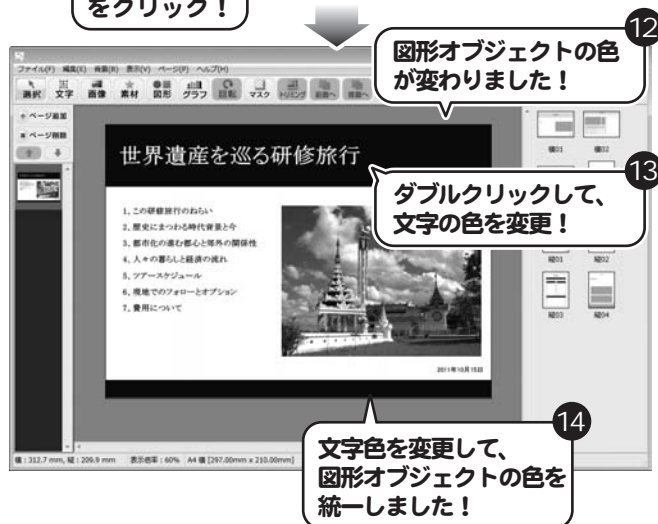
プレビュー画面と塗りつぶしの色が変わったことを
確認できたら、OK ボタンをクリックします。

メイン画面に戻り、図形の色が変わりました。



図形オブジェクトの色と、文字オブジェクトの色が
近くて、見にくかったので、テキストオブジェクトの
プロパティ画面から、文字色を「白」に変更しました。
(※30ページを参照してください。)

又、画面下の図形オブジェクトの色も統一して、
追加した色に設定しました。



資料を作成して印刷する

6 素材オブジェクトを編集します

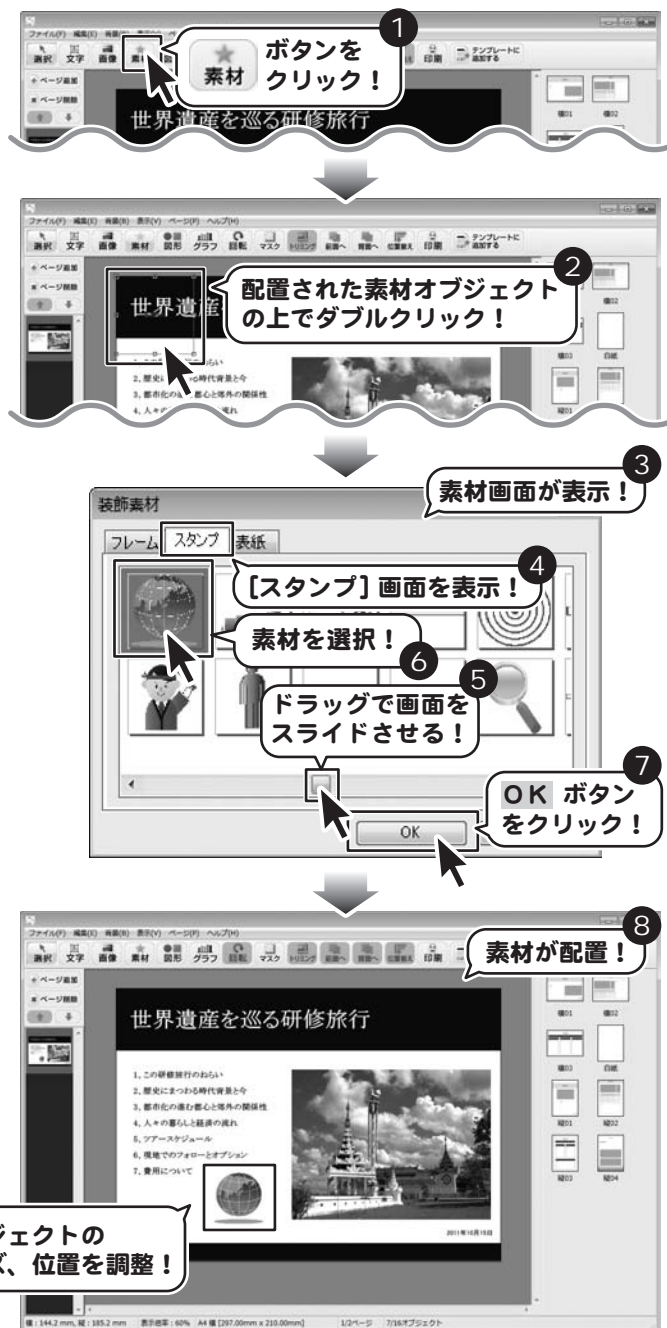
次に、素材オブジェクトを追加します。

ツールバー **素材** ボタンをクリックします。

プレビュー上に素材オブジェクトが表示されました。
素材オブジェクトの上でダブルクリックをして、
装飾素材画面を表示します。

[スタンプ]タブをクリックして、
画面下のスクロールバーを右に動かします。
スタンプ素材の中から、配置したい素材を
選択します。
OK ボタンをクリックすると、プレビュー画面の
素材オブジェクト上に選択したスタンプ素材が
配置されます。

サイズと位置を調整します。
(※32ページを参照してください。)



資料を作成して印刷する

7 背景を設定します

次に、背景を設定します。

メニューバー「背景」から「背景画像」を選択すると、背景画像画面が表示します。

背景画像一覧から、背景画像を選択して、設定・余白を設定します。

(※21ページを参照してください。)

OK ボタンをクリックします。

メイン画面に戻り、データに背景が配置されました。

このページの編集は、これで完成です。



資料を作成して印刷する

8 テンプレートを追加します

ツールバーから **テンプレートに追加する** ボタンをクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されますので、追加したいテンプレートの名前を入力して、**OK** ボタンをクリックします。

メイン画面の、テンプレート一覧に、編集中的数据がテンプレートとして追加されました。



資料を作成して印刷する

9 ページを追加します

新しいページを追加します。
ページ切り替えボタンから、

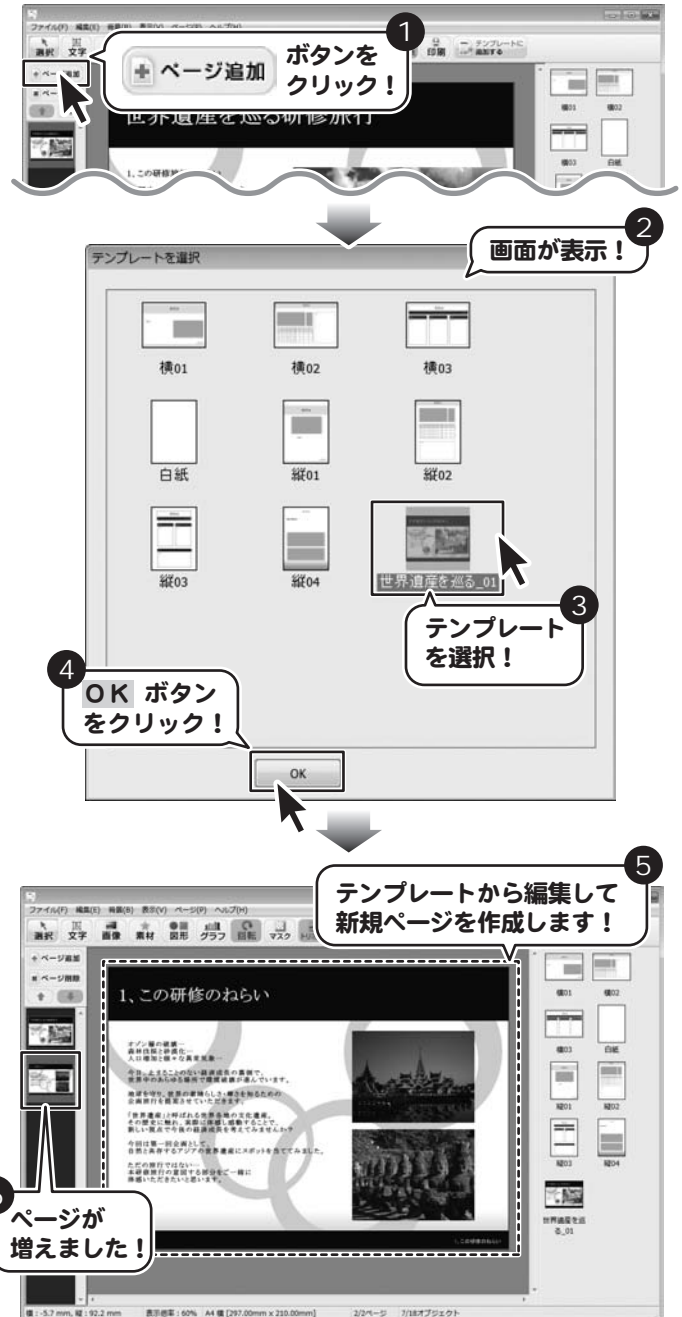
ページ追加 ボタンをクリックします。

テンプレートを選択画面が表示されます。
先程、追加したテンプレート
「世界遺産をめぐる_01」を選択して、
OK ボタンをクリックします。

新しいテンプレートページが追加されると、
配置されたオブジェクトが点滅して、順番に
各プロパティ画面が、自動的に表示されます。
編集したいオブジェクトのプロパティ画面が
表示されたら、編集を加えながら、
新しいページを作成していきます。
※30ページ～38ページのオブジェクトの
編集手順を参考にしながら、編集を進めます。

ここでは、画像オブジェクトを増やして、
ページ題目をページの右下に配置しました。

共通のテンプレートをベースに使用する事で、
基本的なレイアウト・背景画像などを
共通させた状態でページを増やししながら、
資料作成ができます。



資料を作成して印刷する

10 表紙を設定して保存する

ひと通りのページが作成できたら、表紙を設定します。
※ここでの表紙は、作成した資料の表紙となり、印刷されるページではありません。
保存したファイルを開く時に画面上に表示されるアイコンとしての表紙になります。
メニューバー「ファイル」から「表紙設定」を選択すると、表紙選択画面が表示されます。

表紙一覧から、設定したい表紙を選択します。
プレビュー画面に表示される表紙画像を確認して、OK ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。
この画面上では、何の変化も見られません。

次に資料を保存します。
メニューバー「保存」を選択すると、名前をつけて保存画面が表示されます。

付けたい名前を入力したら、OK ボタンをクリックします。
資料データが保存されて、メイン画面に戻ります。

※保存先は以下の場所になります。

【Windows XPの場合】

「ローカルディスクC」→

「Documents and Settings」→

「All Users」→「Application Data」→

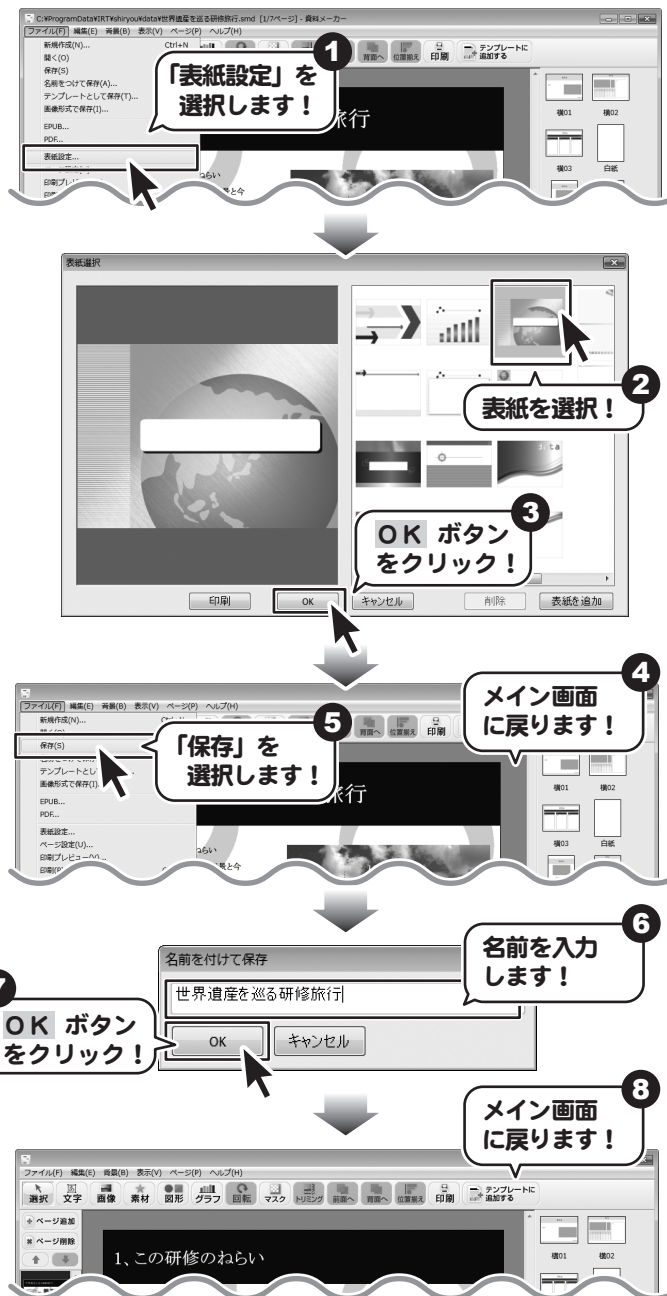
「IRT」→「shiryoku」→「data」フォルダの中。

【Windows Vista・Windows 7 の場合】

「ローカルディスクC」→「Program Data」→

「IRT」→「shiryoku」→「data」フォルダの中。

※Application DataとProgram Data については、69ページを参照してください。



資料を作成して印刷する



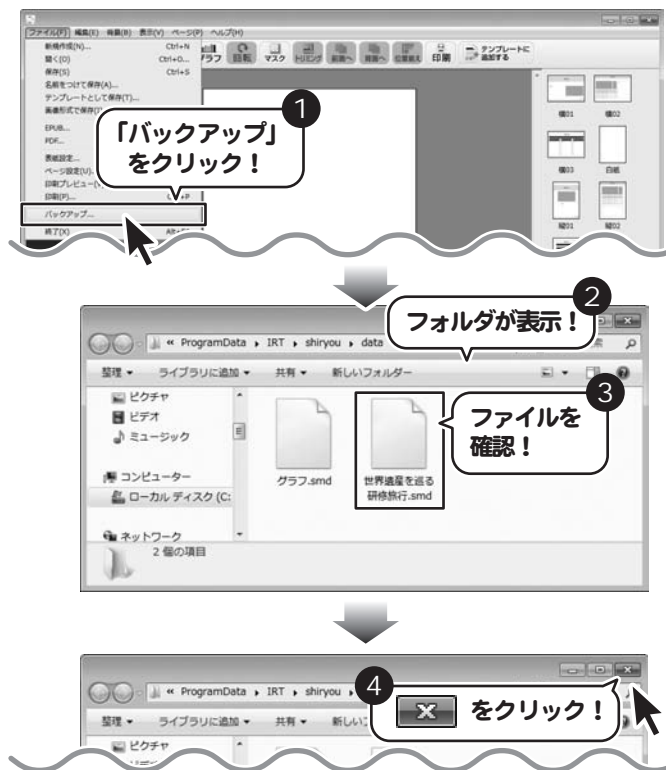
保存したデータの削除・ファイルのコピー

バックアップ

メニューバー「バックアップ」を選択します。
dateフォルダが開いて、保存したファイルを確認できます。
※ここでは、設定した表紙は表示されません。

確認したら、 をクリックして画面を閉じます。
※あくまでも、保存したデータの削除・ファイルのコピー
の為の機能ですので、ファイルを開いたりすることは
できません。

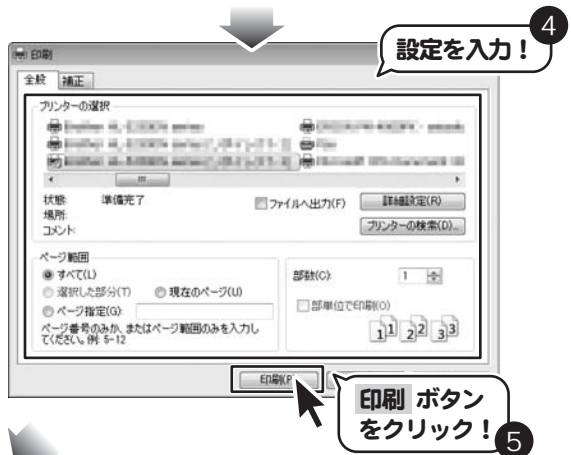
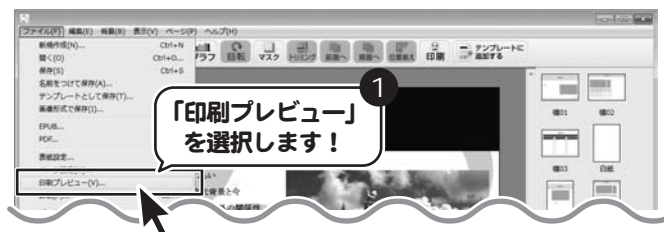
データを削除したい場合は、ファイルを選択して
Delete キーを押すと、ファイルの削除の確認画面が
表示されますので、はい ボタンをクリックすると、
データが削除されて、ゴミ箱に移動します。



資料を作成して印刷する

11 作成したデータを印刷します

まず、データをプレビューで確認します。
メニューバー「ファイル」から「印刷プレビュー」を
選択します。
確認して問題なければ、「印刷」をクリックします。
印刷画面が表示されます。
印刷機の選択・設定などを行います。
印刷 ボタンをクリックして、印刷します。



テンプレートを作成する

ここでは、以下のようなデザインのテンプレートを作成する方法の説明をします。

テンプレートの削除・各オブジェクトを配置したテンプレートを作成できます。

※文字・画像・素材オブジェクトは入力できますが、グラフオブジェクトの入力はできません。

※説明にあるすべての操作を行う必要はありませんので、実際の作成作業では必要のない項目は飛ばしながらお進みください。



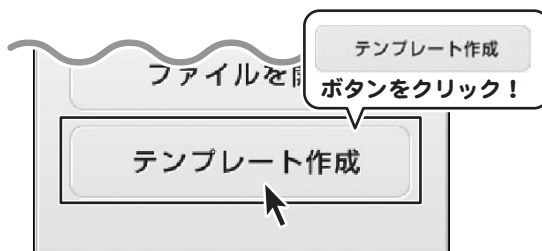
ここでは、左のような資料を、
以下の手順で作成する説明をします。

- 用紙の設定 (45ページ)
- ↓
- 図形の編集 (46~48ページ)
- ↓
- テキストの編集 (49~50ページ)
- ↓
- 画像の編集 (50~51ページ)
- ↓
- 背景を設定 (52ページ)
- ↓
- テンプレートを追加 (53ページ)

1 新規作成の設定をします

作業選択画面で、
テンプレートを作成を選択します。

テンプレート作成 ボタンをクリックします。

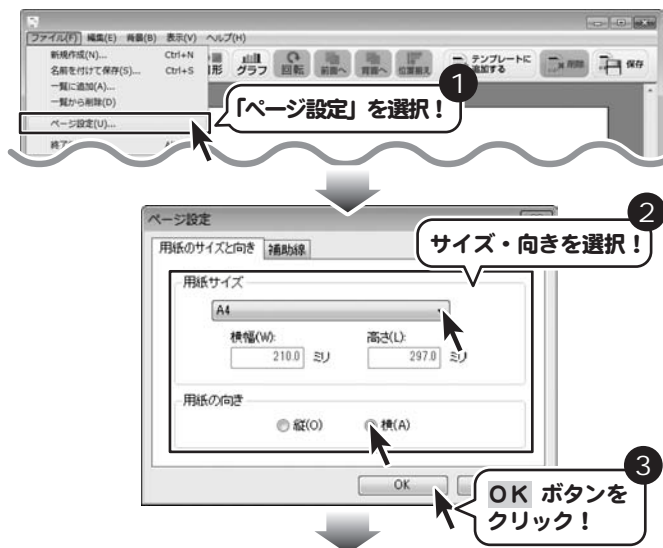


2 用紙の設定をする

テンプレート作成のメイン画面が表示されます。

まず、ファイルメニューから「ページ設定」を選択して、
ページの設定画面を表示させて、
用紙のサイズと向きを選択します。
ここでは、A4・横向きに設定します。

OK ボタンをクリックして、設定内容を確定させて、
メイン画面に戻ります。



テンプレートを作成する

テンプレート一覧からベースに使用したいテンプレートを選択します。

ここでは、「03」を選択します。

※一覧から選択する際、上書きの確認画面が表示されます。問題なければ、はいをクリックします。プレビューに「03」のテンプレートが表示されます。



3 図形オブジェクトの編集をする

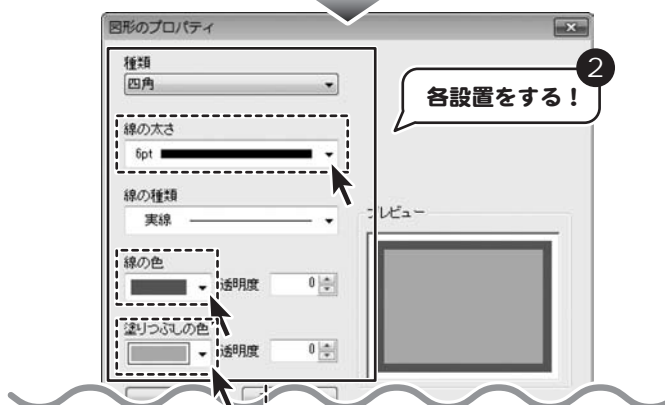
まず、タイトルの入るベースの図形オブジェクトの編集をします。

図形オブジェクト上でダブルクリックをして、図形のプロパティ画面を表示させます。

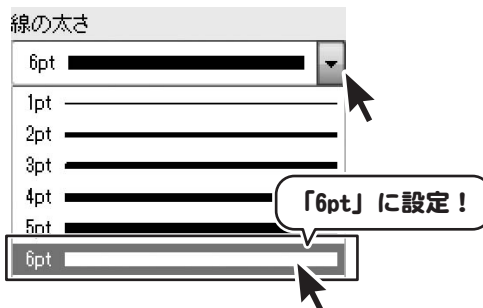


図形のプロパティ画面が表示します。

ここでは、右図のような内容で設定します。

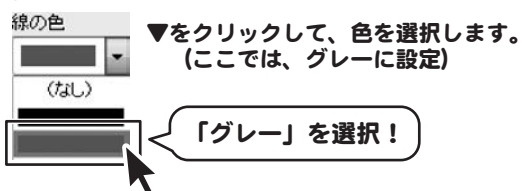


- ①「線の太さ」を変更します。
▼をクリックして、「6pt」に設定します。
(ここでは、左に設定)

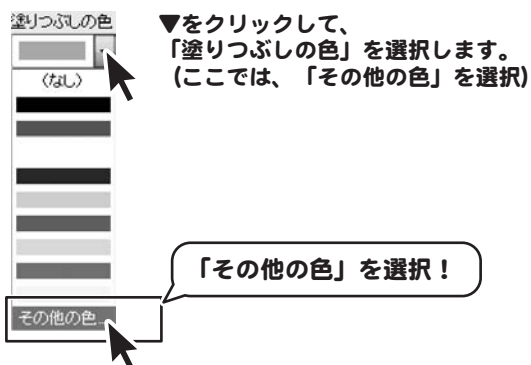


テンプレートを作成する

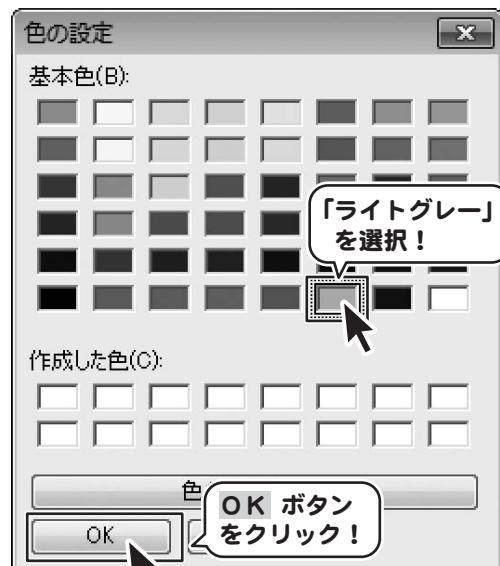
②「線の色」を変更します。



③「塗りつぶしの色」を変更します。



④色の設定画面から「塗りつぶしの色」を選択します。
(ここでは、グレーに設定)



⑤OK ボタンをクリックします。

テンプレートを作成する

全ての設定が終了しましたら、
OK ボタンをクリックして設定内容を確定します。



メイン画面に戻ります。
タイトルの下地の図形オブジェクトが編集されました。



ここまでの手順を参考に、他の図形オブジェクトも
任意のデザインに編集します。



テンプレートを作成する

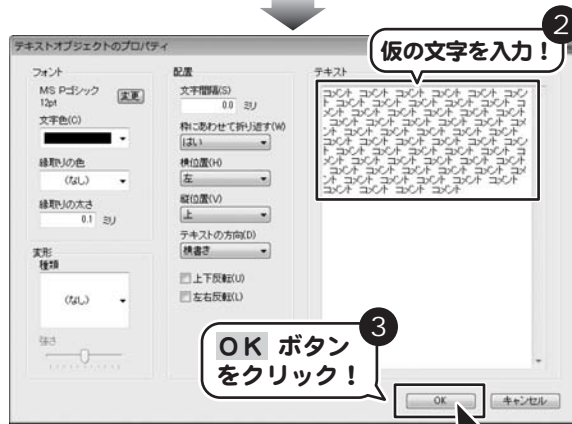
4 テキストオブジェクトの編集をする

テキストオブジェクトの編集をします。
テキストオブジェクト上でダブルクリックをして、
テキストオブジェクトのプロパティ画面を表示します。



画面が表示されたら、内容を設定します。
テンプレートですので、具体的な文字は入力せず、
ここでは、「テキスト」という文字を羅列して、
紙面全体のデザインを整えます。

OK ボタンをクリックして、メイン画面に戻ります。



テキストオブジェクトが編集されました。

ここでは、全体のデザインを整えるために、
テキストの入力されたサイズに
オブジェクトのサイズを変更します。



テンプレートを作成する

全てのテキストオブジェクトも、同様に編集します。



5 画像オブジェクトを追加する

ツールバーから **画像** ボタンをクリックして、画像オブジェクトを追加します。



色の調整画面が表示されます。
配置する画像を選択します。

開く ボタンをクリックしますと、
開く画面が表示します。



開く画面が表示されたら、
配置する画像を選択します。
※テンプレートですので、
あくまで、仮の画像になります。

開く(O) ボタンをクリックしますと、
色の調整画面に戻って、
プレビューに選択した画像が表示されます。



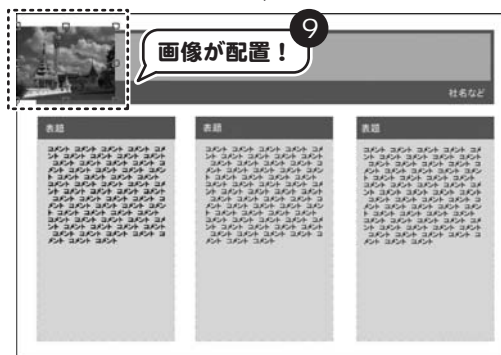
テンプレートを作成する

画像がプレビュー画面に表示されます。

OK ボタンをクリックします。



画像が配置されました。



配置された画像のサイズと位置を調整します。

テンプレートに配置したい画像オブジェクトを
全て配置します。
ここでは、仮に同じ画像で、
画像オブジェクトを3つ配置しました。



テンプレートを作成する

6 背景を設定します

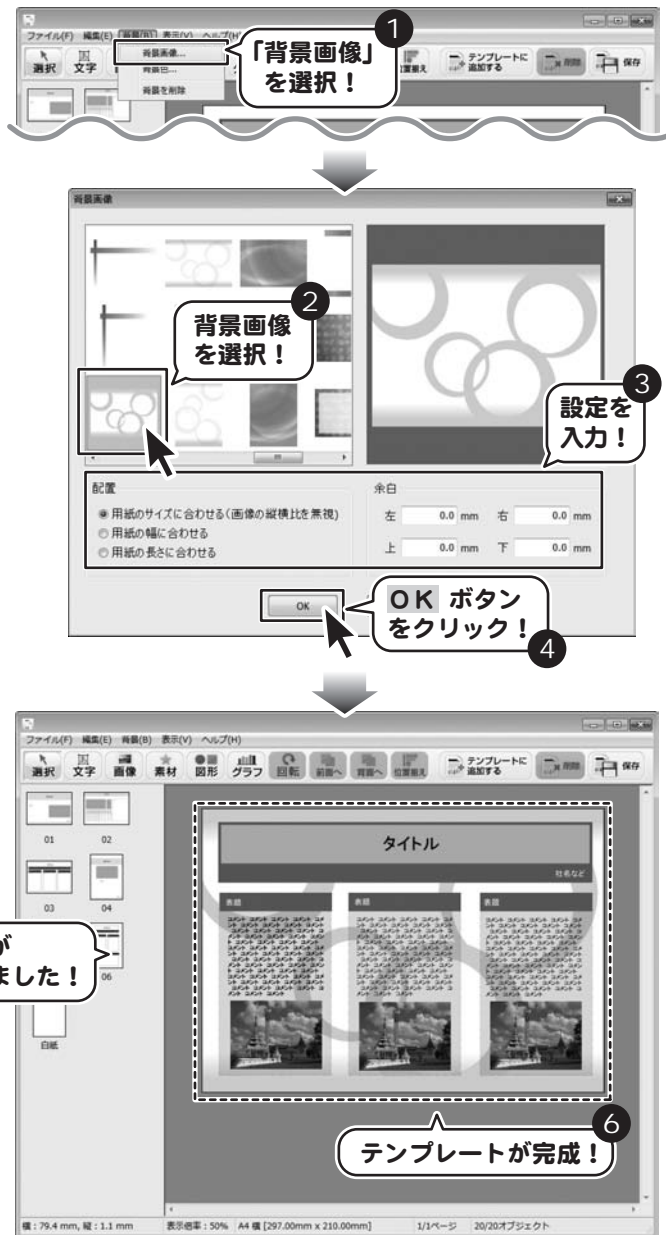
次に、背景を設定します。

メニューバー「背景」から「背景画像」を選択すると、背景画像画面が表示します。
背景画像一覧から、背景画像を選択して、設定・余白を設定します。
ここでは、何も編集しません。
(※21ページを参照してください。)

OK ボタンをクリックします。

メイン画面に戻り、データに背景が配置されました。

このテンプレートの編集は、これで完成です。



テンプレートを作成する

7 テンプレートを追加します

ツールバーから **テンプレートに追加する** ボタンをクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されますので、追加したいテンプレートの名前を入力して、**OK** ボタンをクリックします。

メイン画面の、テンプレート一覧に、編集中的数据がテンプレートとして追加されました。

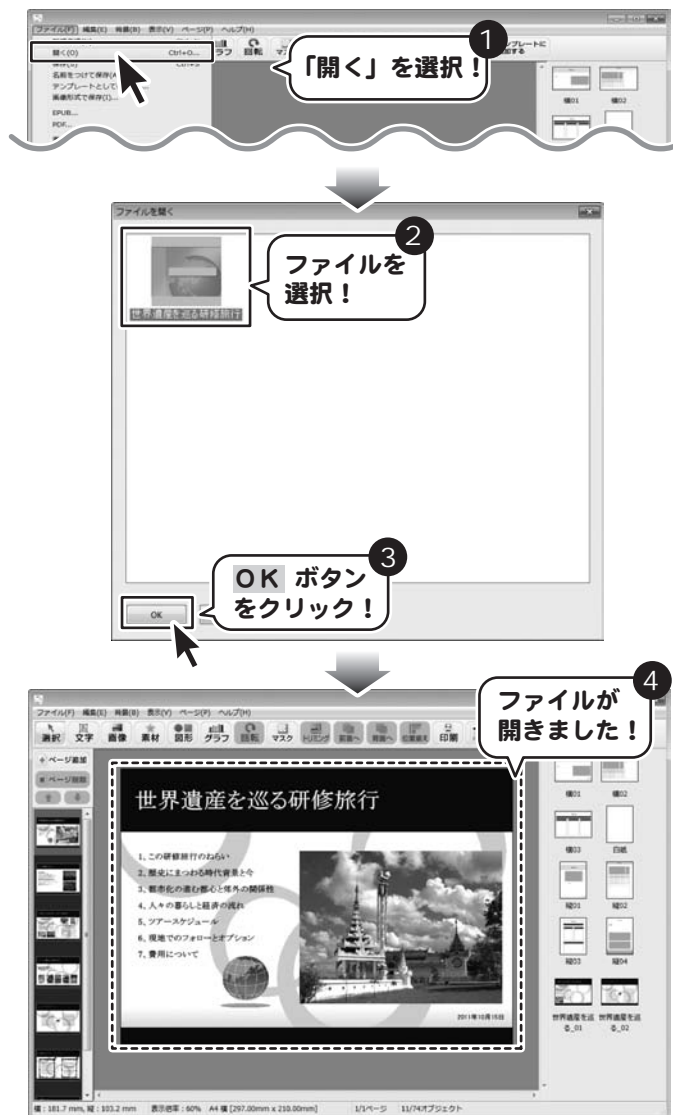


その他の機能・操作方法

作成 (保存) したファイルを開く

メニューバー「ファイル」から「開く」を選択します。
開く画面が表示されましたら、
開くファイルを選択して、**OK** ボタンをクリックします。

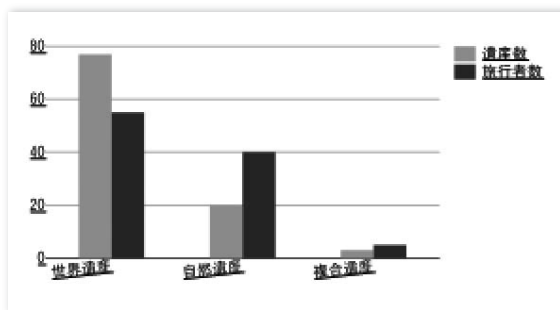
※開く画面に表示されるファイルのアイコンは、
表紙設定をした画像になります。
※詳細は、42ページを参照してください。



その他の機能・操作方法

グラフオブジェクトを追加・編集する

ここでは、下記のようなグラフオブジェクトを作成する方法を説明します。



まず、新規ファイルを作成します。
メニューバーの「新規作成」を選択します。
作業選択画面が表示されますので、

新規作成

ボタンをクリックします。



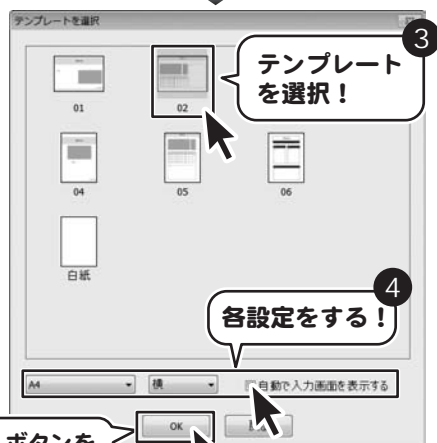
新規作成

ボタンをクリック!



テンプレート画面が表示されます。
一覧から、任意のテンプレートを選択します。
ここでは、「02」のテンプレートを選択します。

用紙のサイズは「A4」を、
用紙の向きは「横」に設定されています。
「自動で入力画面を表示」にチェックを入れて、
OK ボタンをクリックします。



テンプレート
を選択!

各設定をする!

OK ボタンを
クリック!

その他の機能・操作方法

グラフのプロパティ画面が表示されます。

グラフの編集画面でグラフ内容の設定をします。
 先ず、グラフの表示形式を選択します。
 次に、系列数・データ数を設定して、
 グラフの編集画面で、入力・設定します。
 ※詳細は22ページを参照してください。



①▼をクリックして、「グラフの表示形式」を設定します。
 (ここでは、縦グラフに設定)



②グラフの編集画面上で文字を入力します。
 枠内をクリックすると文字入力ができます。

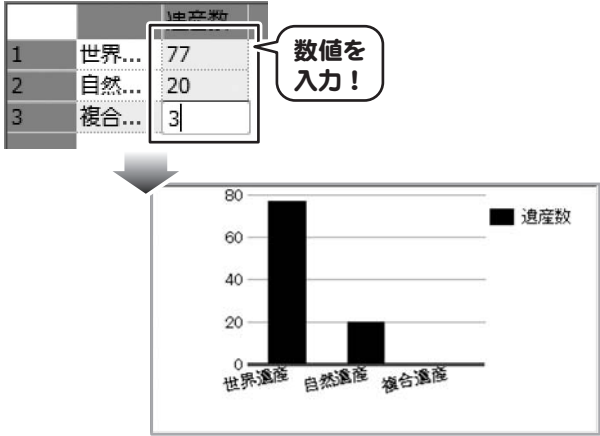


③系列1をクリックして、系列名を入力します。



その他の機能・操作方法

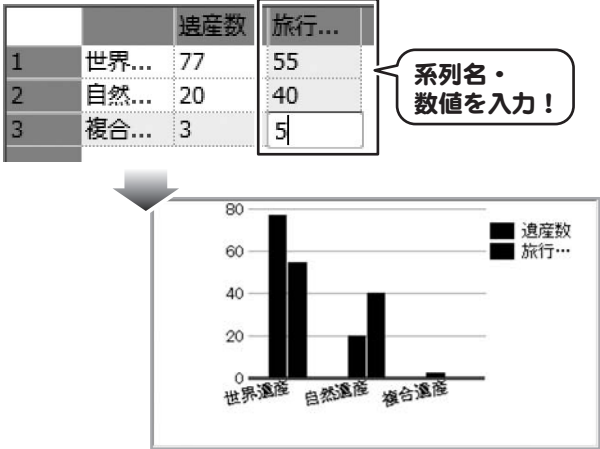
- ④「遺産数」に数値を入力します。(プレビューにも反映)
※この枠内に数値意外の単位などを入力すると、
グラフ表示に反映されません！



- ⑤「系列を追加」ボタンをクリックして系列を追加します。



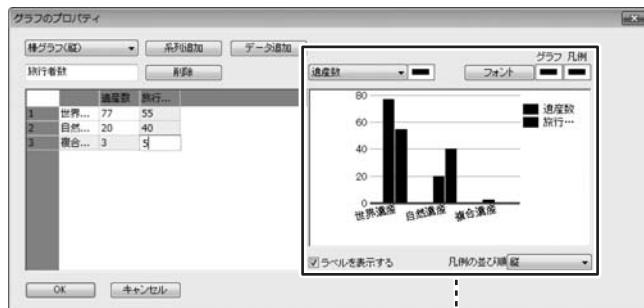
- ⑥追加した系列に、系列名・数値を入力します。



その他の機能・操作方法

次に、グラフ・凡例の色を設定します。
系列の選択で選択した系列を編集します。

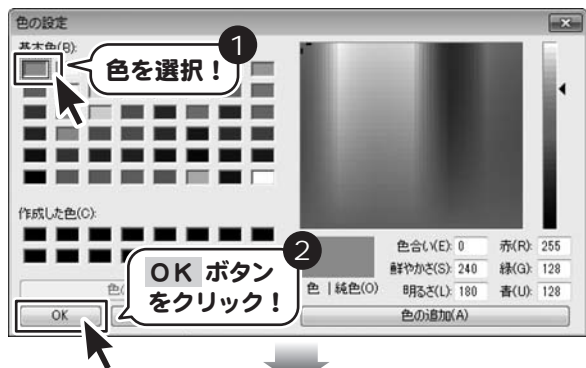
プレビュー画面で確認しながら、
それぞれのフォントや色を設定・編集を進めます。
※詳細は22ページを参照してください。



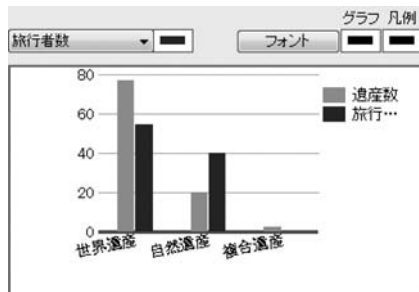
- ①系列の選択で系列名を指定して編集します。
▼をクリックして、「遺産数」を選択して
■ ボタンをクリックします。



- ②色設定画面が表示されますので、設定したい色を選択して、OK ボタンをクリックします。



※同様に「旅行者数」を選択して色を設定すると、
下記の様なグラフになります。



その他の機能・操作方法

③次にフォントの設定をします。

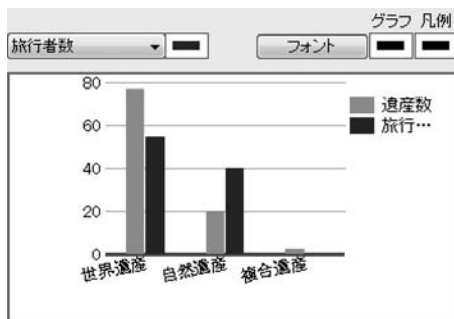
フォント ボタンをクリックすると、
文字設定画面が表示されます。



ここでは、フォントを「SMゴシック」に、
スタイルを「標準」、サイズを「10」に設定して、
OK ボタンをクリックします。

④次に **グラフ** **凡例** ボタンをクリックして、

色の設定画面から、フォントに色の設定をします。




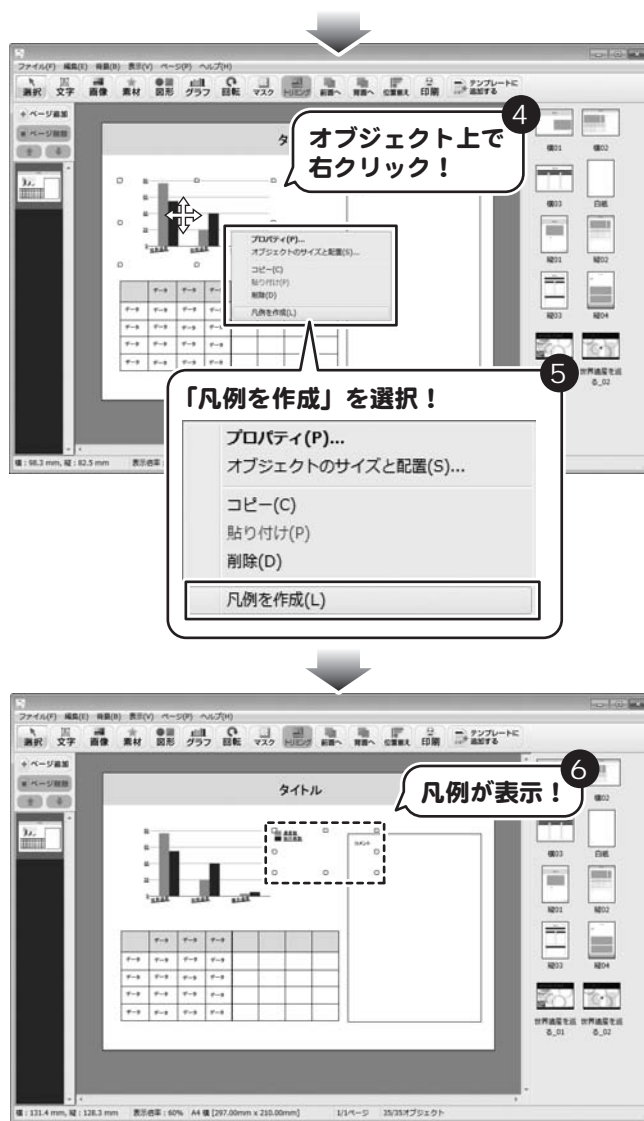
その他の機能・操作方法

グラフのプロパティ画面が閉じて、メイン画面に戻ると、他のオブジェクトのプロパティ画面が順に表示されます。

ひと通り編集が終わったら、メイン画面のプレビューを確認してください。
グラフオブジェクトに、「凡例オブジェクト」が表示されていません。

グラフオブジェクトの上で、右クリックをすると、ポップアップ画面が表示されますので、「凡例を作成」を選択すると、先程、作成したグラフオブジェクトの凡例が表示されます。

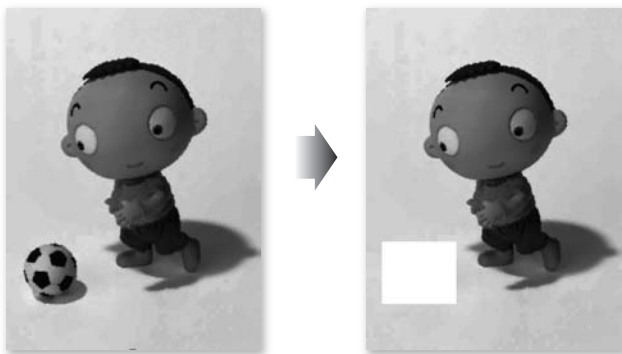
※  ボタンをクリックして、グラフオブジェクトを追加した時は、凡例オブジェクトも表示されます。



その他の機能・操作方法

マスク機能を使用する

マウス機能とは、画像や図形の一部分だけを隠すことができる機能です。
ここでは、下記のような画像とマスクを使用した説明をします。



まず、新規作成で「白紙」のレイアウトデータを用意します。

ツルバーから、**画像** ボタンをクリックして、編集画面上に、画像オブジェクトを作成します。
配置された画像オブジェクト上でダブルクリックすると、色の調整画面が表示されます。
※19ページを参照してください。

開く ボタンをクリックして、配置する画像を選択します。
(※32ページ～34ページを参照してください。)
ここでは、他の編集設定はしないので、**OK** ボタンをクリックして画像を配置させます。




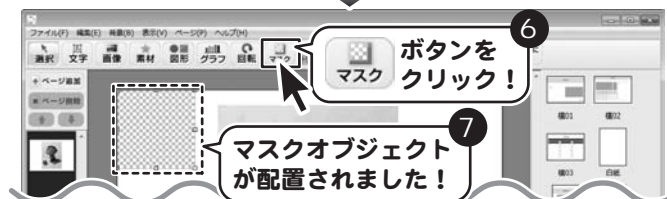
その他の機能・操作方法

画像オブジェクトが配置されたら、サイズと位置を編集します。

(※34ページを参照してください。)

次にマスクオブジェクトを配置します。

ツールバーから、 ボタンをクリックすると、マスクオブジェクトが配置されます。



ここでは、「サッカーボール」だけを表示させないように、マスクをかけたいので、画像オブジェクトの「サッカーボール」の上に合うように、サイズと位置を調整します。

(※34ページを参照してください。)

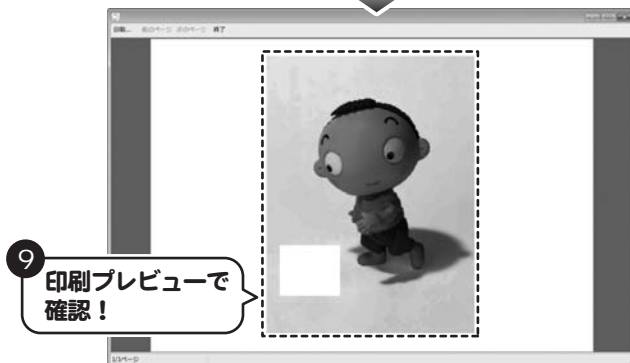
これでマスクオブジェクトの編集ができました。



メニューバーの「印刷プレビュー」を選択して、画面上でマスクがかかったか確認してみましょう。

(※44ページを参照してください。)

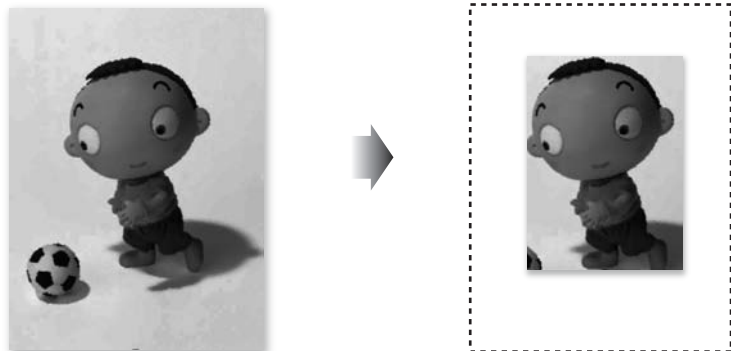
マスクをかけた部分が透明に切り抜かれて、表示されています。



その他の機能・操作方法

画像のトリミングをする

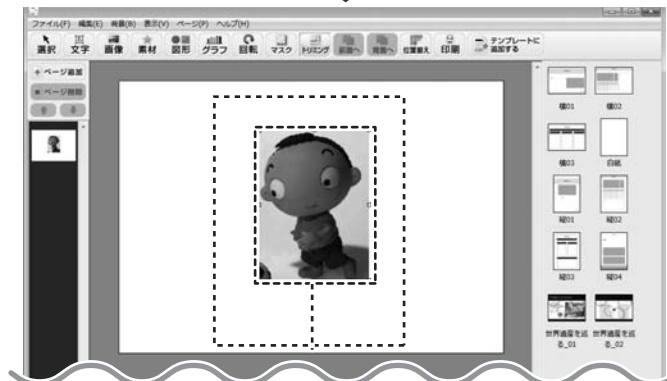
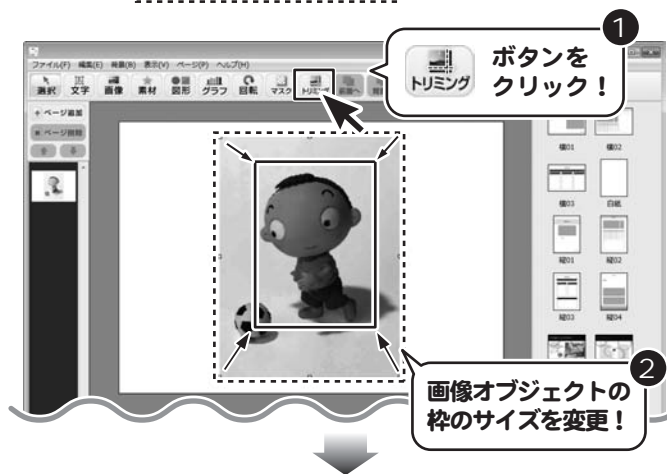
トリミング機能とは、画像を切り取った状態で表示することができる機能です。
ここでは、下記のように画像をトリミングする方法を説明します。



50ページを参考にしながら、画像オブジェクトを追加して、画像を選択して配置します。

ツールバーから、**トリミング** ボタンをクリックして、
画像オブジェクト枠の周辺にあるポイント(口)の上で、ドラッグで表示サイズを編集します。
ここでは、「男の子」だけを表示させます。

トリミングの解除をしたい時は、
画像オブジェクト上で右クリックをして、
ポップアップ画面を表示させます。
「トリミングを解除」を選択すると、解除されて、
トリミングをする前の画像に戻ります。



画像がトリミングされました

その他の機能・操作方法



切り抜きのメニューを使用する

画像オブジェクトの上を右クリックし、「切り抜き」を選択すると切り抜くことができる型のメニューが表示されます。

1 画像オブジェクトの上を右クリック！

切り抜きのメニューが表示されますので、切取形式を選択！

2

3 ハートの型を選択すると写真がハート型に切り抜かれました！

The screenshot illustrates the steps to crop an image into a heart shape. It shows a context menu with various options, including '切り抜き(C)' (Crop), which is highlighted. A sub-menu is shown with various crop shapes, including a heart shape. The final result shows the image cropped into a heart shape.

その他の機能・操作方法

動画から画像を読み込む

ここでは、動画を読み込んで、静止画としてデータに配置する方法を説明します。

1 動画→静止画 画面を表示します

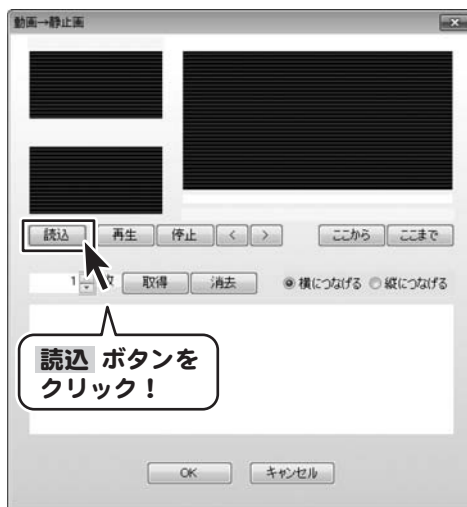
61ページを参考にしながら、
画像オブジェクトを追加します。

画像オブジェクト上で右クリックし、
表示されるメニューから「動画から...」を
選択します。



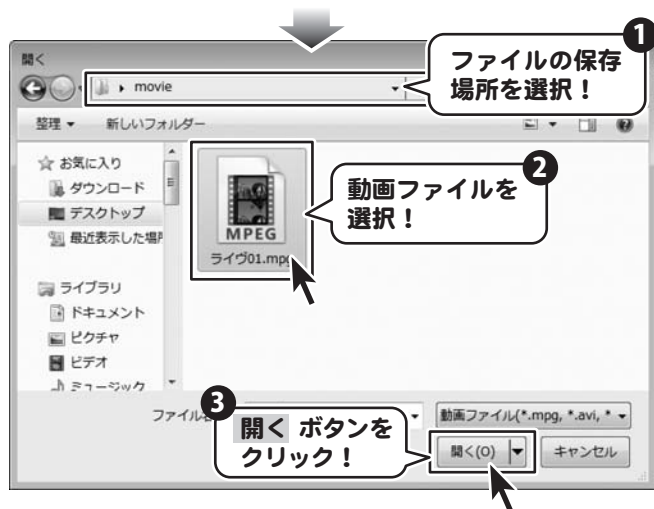
2 動画を読み込みます

動画→静止画 画面が表示されましたら
読み込 ボタンをクリックします。



その他の機能・操作方法

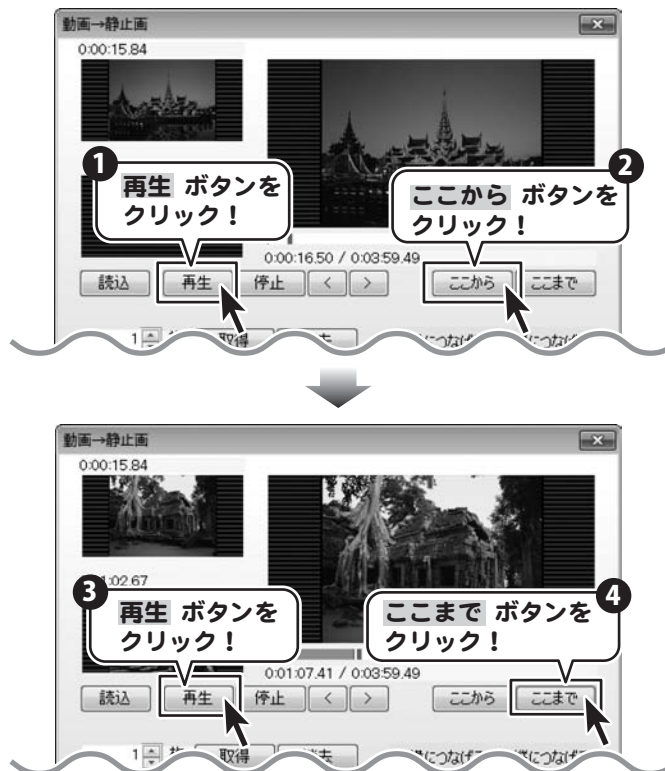
開く画面が表示されますので、
動画ファイルの保存場所を指定し、
動画ファイルを選択して、開く ボタンを
クリックします。
※対応している形式は、
MPEG1/AVI/WMV です。



3 静止画を取得する範囲を設定します

動画が読み込まれましたら 再生 ボタンを
クリックして、静止画の取得を開始する
位置まで再生します。
開始位置が調整できたら
ここから ボタンをクリックして、
開始位置を設定します。

次に、静止画の取得を終了する位置まで
再生して終了位置が調整できたら、
ここまで ボタンをクリックします。



その他の機能・操作方法

4 動画から静止画を取得します

静止画を取得する範囲の設定が
できましたら、取得する枚数と
つなげる方向を設定して、**取得** ボタンを
クリックします。
※取得できる静止画は20枚までです。

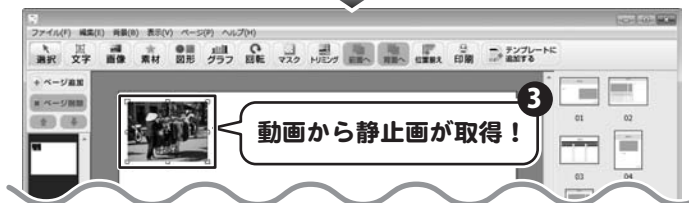


その他の機能・操作方法

5 静止画を選択して配置します

静止画が取得できましたら、
アルバムに配置したい静止画を選択して
OK ボタンをクリックします。
※静止画は複数選択することができます。

最後に画像オブジェクトの枠のサイズ、
位置を調整します。



Q&A

インストール・起動について

Q：インストールができない

A：以下の項目をご確認ください。

- ウィルス対策などのソフトが起動していないか。
- HDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
- 管理者権限でログインしているか。
- Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。
- 外付けの機器(ハードディスクやUSBメモリ等)にソフトをインストールしている場合
それらの機器がパソコンに接続され、パソコン上で認識されているか。

Q：管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動し、インストールしようとする

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。」(Vista) (7)
「インストールプログラムにはディレクトリ ~ にアクセスする権限がありません。インストールを継続
できません。管理者としてログインするか、またはシステム管理者にお問い合わせください。」(XP)
と表示されてインストールができません

A：本ソフトをご利用の際には管理者権限を持ったユーザーアカウント上でご利用ください。

操作について

Q：完全アンインストールの方法を教えてください。

A：OSごとに次の手順で行ってください。

【Windows XPの場合】

1. 4ページにあります「アンインストール方法」より、通常のアンインストールを行います。
2. マイコンピュータ→Cドライブ→Documents and Settings→Application Data(※)→IRT→shiryou
フォルダーをゴミ箱へ削除します。

【Windows Vista、7の場合】

1. 4ページにあります「アンインストール方法」より、通常のアンインストールを行います。
2. コンピュータ→Cドライブ→Program Data(※)→IRT→shiryouフォルダーをゴミ箱へ削除します。

※初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。

隠しフォルダーの表示方法

【Windows 7の場合】

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→
詳細設定: ファイルとフォルダーの表示[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択→
[適用]→[OK]ボタンをクリック

【Windows Vistaの場合】

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→
詳細設定: ファイルとフォルダの表示[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]ボタンをクリック

【Windows XPの場合】

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→
詳細設定: ファイルとフォルダの表示[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]ボタンをクリック

Q&A

操作について

Q：読み込んだ写真を編集することはできるの？

A：本ソフトには写真(画像)を編集する機能はついておりませんが、トリミング(画像の切り抜き)と色の調整を行う事は可能です。
写真の読込後に「丸・星・ハート・角丸四角形・ひし形」などの形に切り抜くこともできます。詳細は64ページをご覧ください。

Q：テンプレートの自動で入力画面が表示される。手動で入力していきたい

A：テンプレート選択画面の「自動で入力画面を表示する」のチェックを外してください。

Q：オブジェクトの回転を固定させておきたいのに、マウスでオブジェクトに触れると移動できずにまた回転してしまいます

A：オブジェクトを回転させてお好みの角度に傾きましたら、一度画面左上の「選択」ボタンをクリックしてください。
選択ボタンクリック後であれば固定された状態になりますので、マウスで触れても回転が行われず、
オブジェクトの移動などをスムーズに行うことができます。
再び回転させる場合には、回転させたいオブジェクトを直接マウスで選択した後、「回転」ボタンをクリックしてください。

Q：回転の軸となる基準はどこになるの？複数のオブジェクトで回転する場合は？

A：オブジェクトの中心が軸となって回転します。複数のオブジェクトをまとめて回転させるには、
複数のオブジェクト全体の外周から中心を割り出して回転します。

Q：文字の形を斜体にしたり、文字の上に取り消し線をつけることはできるの？

A：テキストオブジェクトプロパティ画面のフォント内にて設定することができます。
スタイル：標準・斜体・太字・太字 斜体
文字飾り：打ち消し線・下線

Q：数字や文字が入力できない 入力しているのに登録されない

A：次の内容をご確認ください。
・数字や文字を入力する欄でカーソルが点滅しているか
・キーボードの設定(NumLockキーのオン／オフ等)
・入力した文字が確定された状態であるか(文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)

Q：数字や文字が入力できない 入力しているのに登録されない

A：次の内容をご確認ください。
・数字や文字を入力する欄でカーソルが点滅しているか
・キーボードの設定(NumLockキーのオン／オフ等)
・入力した文字が確定された状態であるか(文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)

Q&A

操作について

Q：データを別のパソコンに移すには？

A：テンプレートデータの場合：

「テンプレート作成」でテンプレートを選択してUSBメモリ等に保存します。

別のパソコンに本ソフトをインストールして、以下の場所に保存したファイルを移してください。

【Windows XPの場合】

Cドライブ→Documents and Settings→All Users→Application Data→
IRT→shiryou→templatesフォルダーにファイルを移します。

【Windows Vista、7の場合】

Cドライブ→Program Data→IRT→shiryou→
templatesフォルダーにファイルを移します。

資料データの場合：

「新規作成」でファイルメニューの「バックアップ」をクリックします。

移動するファイルをコピーしてUSBメモリ等に移します。別のパソコンに本ソフトをインストールして、以下の場所にファイルを移してください。

【Windows XPの場合】

Cドライブ→Documents and Settings→All Users→Application Data→
IRT→shiryou→dataフォルダーにファイルを移します。

【Windows Vista、7の場合】

Cドライブ→Program Data→IRT→shiryou→dataフォルダーにファイルを移します。

印刷について

Q：印刷ができません

A：プリンターの説明書を元に次の内容をご確認下さい。

- ・プリンターとの接続
- ・プリンターに必要なドライバーソフトの設定内容
- ・インクやトナーの残量
- ・印刷時にエラーが出ていないか

※プリンター自体の動作や、必要なプリンター用プログラムにつきましては、メーカー様などにお問い合わせください。

Q：テンプレートデータを使って写真の印刷を行ったら、画像の枠に線がついているのでこの枠線を消したい

A：枠線を消すには、枠線を消したい画像を右クリックし、表示メニューより「枠」を選択します。

「線の色」を「なし」に設定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

Q：ソフトに対応している用紙サイズは？

A：基本的に、本ソフトで印刷することが可能な用紙サイズはA3・A4・B5サイズになり、接続されているプリンターがこの用紙サイズに対応していることが条件になります。説明書2ページの動作環境・その他をご確認ください。

Q&A

データについて(保存・開くなど)

Q：対応している画像形式は？

A：画像データの読込はJPEG / BMP形式に対応しています。
画像データで保存はPNG / JPEG / BMP / GIFで保存できます。

Q：画像ファイルを開こうとすると、エラーメッセージが出て開けない

A：画像データが破損してしまっているか、対応していない形式である可能性があります。

Q：画像を開きたいが、どこに保存したか分からなくなってしまったので、検索したい

A：本ソフトには検索機能はありません。Windowsの検索機能などで検索を行ってください。

その他

Q：複数のユーザーで使用できますか？

A：本ソフトは、『1ソフト・1PC』でご利用いただくソフトです。1つのパソコン内に二重インストール等を行うことはできません。

Q：他のパソコンとの共有はできますか？

A：本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作していただく仕様です。ネットワーク等でご利用いただくことはできません。

Q：入力した文字が文字化けしてしまう

A：ご利用パソコンの言語設定をご確認ください。また併せて日付の設定もご確認ください。

Q：画面の一部が切れた状態で表示される

A：画面解像度を推奨サイズ以上に変更してください。

【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「プロパティ」をクリックし、設定(画面)タブをクリックします。
3. 画面の解像度(画面の領域)のバーを動かし、1024×768以上に設定します。
4. 「OK」をクリックすれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「個人設定」をクリックし、画面の設定をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。
※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

【Windows 7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。
※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

Q&A

その他

Q：ボタンをクリックしても反応しない、また画面が正常に表示されていない

A：お使いのパソコンのDPI設定が標準以外(96以外)に変更されている可能性があります。

以下の手順にてDPI設定を変更してください。

【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「プロパティ」を左クリックし、設定(画面)タブをクリックします。
3. 詳細設定(詳細)をクリックし、「全般」タブの「DPI設定」(フォントサイズ)を「96DPI」(小さいフォント)に設定します。
4. 「OK」をクリックし、パソコンを再起動すれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「個人設定」を左クリックし、「フォントサイズ(DPI)の調整」をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
4. 規定のスケール(96DPI)にチェックを付け、「OK」をクリックします。
5. コンピューターが自動的に再起動されますので、再起動したら設定完了です。

【Windows 7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
 3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
 4. 「これらの変更を適用するには、パソコンからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
 5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。
-

Q&A

その他

Q：「2011 ****」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示される

A：Windowsの日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作（表示等）がされない場合があります。

以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

【Windows Vistaの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「この形式のカスタマイズ」ボタンをクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」ボタン→「OK」ボタンの順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows 7の場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「Japanese(Japan)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

WindowsOSやパソコン本体・プリンターなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせください。
弊社では一切の責任を負いかねますことを、予めご了承ください。

ユーザーサポート

本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など具体例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

○ソフトのタイトル・バージョン

例:「資料メーカー」

○ソフトのシリアルナンバー

例: IRTXXX-XXXXX-XXXXXX

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例: Windows 7

WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例: Internet Explorer 6

・パソコンの仕様

例: SONY Vaio XXXX-XXX-XX

Pentium III 1GHz HDD 60GB Memory 512MByte

・プリンタなど接続機器の詳細

例: プリンタ EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している
インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

○お問合せ内容

例: ~の操作を行ったら、~というメッセージがでてソフトが動かなくなった
□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先など

■ご注意

※お客様より頂いたお問合せに返信できない現象が多発しております。
FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。
また、お問合せ頂く前に、プリンター等の設定などを今一度ご確認ください。



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。コンピュータのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べのうえお伝えください。

TEL 048-640-2582 FAX 048-640-2582
E-mail info@irtnet.jp URL <http://irtnet.jp/>

受付時間 平日AM10:00~PM5:30
土、日、祭日を除く

株式会社アイアールティ
〒532-0012
大阪府大阪市淀川区木川東4丁目2番2号 北商新大阪ビル4F